



PERSPIRATION



2016年
茨城大学陸上競技部 部誌
第11号

目次

| | |
|---|----|
| I. 2016 年度シーズンを振り返って | 1 |
| II. 2016 年度活動報告 | 5 |
| i) 大会後記 | 6 |
| 関東インカレ／千葉対校／関東甲信越／国公立 26 大学対校／ 関東大学女子駅伝／ 箱根予選会／北関東五大学対校／三浜駅伝／荒川駅伝／国公立 26 大学対校駅伝／ 勝田全国マラソン | |
| ii) その他の主な競技会の結果 | 18 |
| 茨城県選手権／その他 | |
| iii) その他の活動 | 19 |
| 協力審判員／宇都宮大学・千葉大学・群馬大学・高崎経済大学合同合宿 | |
| III. 2017 年度シーズンの抱負 | 20 |
| IV. 2017 年度活動予定 | 23 |
| V. 引退される先輩より | 24 |
| VI. OB/OG 近況報告・現役部員へのメッセージ | 36 |
| VII. 記録集 | 43 |
| 茨城大学記録・男子／茨城大学記録・女子／2016 年度ランキング／対校戦順位一覧 | |
| VIII. 部員名簿 | 48 |
| 編集後記・連絡先 | 49 |

I. 2016 年度シーズンを振り返って

主将反省

前主将 小野隼太

2015 年 10 月に前主将の菊池から引き継ぎ、チーム方針「闘波」のもと、国公立 26 大学対校戦でのアベック 3 位を目標に活動してきました。しかし結果は男子 16 位、女子 4 位と満足のいく結果を出すことが出来ませんでした。スタッフの活動、そして主将の活動としての反省を書きます。

まずはスタッフの活動について、今年度は今までの反省を受けて、チーム方針と競技目標を早くに打ち出し、コルクボードやいばりく通信を用いた情報発信をすることができました。しかし、後半になるにつれて、それらが薄れてしまったことが問題でした。また、一番重要にしていた国公立 26 大学対校戦の前に、北関東五大学対校戦の 1 カ月前から行ったようなミーティングや情報発信、意識統一を行うことができなかったことも問題でした。これら 2 つに共通してスタッフの反省として言えることは、対校戦の時期に入って、スタッフのメンバーひとりひとりが抱える仕事が増え、仕事が消化不良になってしまい、私達が本当にやりたかったことまで手が回らなくなってしまったことです。仕事の責任を明確にして、仕事に漏れがないように行っていくべきだと思います。

次に主将の活動について、私は主将として、競技でチームに波を起こしていくことが大きな役割だと考えてきました。しかし、トラックシーズンに入った直後に左アキレス腱の怪我をしてしまい、それを引きずったまま対校戦もろくに走ることが出来ず、競技目標としていた国公立 26 大学対校戦には出場すらできませんでした。また、気持ちに余裕を持つことができず、競技以外の部分で取り返そうと考えることもできず、私は主将としての責任を全うすることはできませんでした。

昨年の 11 月から主将を 2 年次の川嶋に引き継ぎました。また部活運営も 2 年次主体に移っています。川嶋主将なら、きっとチームのムードメーカーとして明るい部活を作っていけるとと思います。私も、そして 3 年次も、この 1 年間の経験を活かして、できる限りスタッフをサポートしていければと思います。

主務反省

前主務 後藤晴菜

2015 年の国公立 25 大学対校戦で、前主務の長谷川、鈴木から引き継ぎ、今年の北関東五大学対校戦まで務めました。去年は副主務としてスタッフで活動してきたので、大まかな役割についてはわかっていたのですが、やはり実際に責任の大きい主務の立場になってみると、難しいことや悩むことが多く、反省点ばかりが思い起こされます。それと同時にチームを作っていくことの難しさを痛感しました。しかし、個人としては、スタッフとして、主務として、一チームのメンバーとして等のあらゆる視点から常にチームのことを考えてきたため、そこから得るものも多く、充実した一年となりました。

今年度は主催大会がなかったのですが、大会の手続きや、運営、合宿等に携わっていく上で、たくさんの方々によってこの部活動が成り立っていることを身に沁みて感じました。この役職についてからというのも恥ずかしい話なのですが、今年はその支えの分まで結果で示したいという競技への一つのモチベーションにもつながるような大変貴重な体験をしました。また、チームの外側の人だけでなく、チームのメンバーにも支えられていると強く感じました。行き詰ったり悩んだりした時には、先輩方に意見をいただいたり、本音をぶつけられる同期がいたり、練習や試合に励んでいる後輩の姿を見てパワーをもらい、この役職を全うすることができました。至らぬ点多かったとは思いますが、この反省を今度は次の代で生かしていけるようにしっかりと伝えていきたいと思っています。そして、この経験を通して得たものをチーム内で共有して、自らも積極的にサポートしていきたいと思っています。

短距離ブロックの反省

前短距離ブロック長 小林柊次郎

今年度短距離ブロックは新たに1年次2名を迎え、総勢21名（途中1名が投擲へ移籍）で活動してきました。まず私がブロック長になるにあたり、ブロックとしての明確な目標を定められなかったことが1番の反省と考えています。昨年に比べ、明らかに目標が不明確なままであったと感じております。

競技結果としては、自己ベストをシーズン初期から中盤（関甲信まで）にかけて5名、終盤（北関東五大学対校戦、国公立26大学対校戦）においては8名更新しましたが、多くはない数字となりました。非常に心残りのあるものが多いシーズンとなったのではないかなと感じています。また、昨年の関東インカレ出場選手など経験の多い選手を上手に活用できなかったことが反省として挙げられます。

また、これまでの反省にも絶えず取り上げられている、怪我人の多さが目立ちました。特にチームの主力となる選手の怪我が多く、戦えていたはずの対校戦も厳しいものとなった印象です。怪我を予防する呼びかけだけで終わり、どれだけ選手に疲労がたまっているかなどの把握が徹底して行えませんでした。今後に向けてしっかり課題を明確にして解消できるようにしたいです。

現在、ブロック長を立林に引き継ぎ短距離ブロックは活動しています。この代は人数も多いのですが、運営させるだけでなくしっかり協力して積極的にサポートしていく姿勢で取り組んでいきたいと思っております。

中長距離ブロックの反省

前中長距離ブロック長 小野隼太

2015年10月に前ブロック長山本から引き継ぎ、主将と兼任という形で活動してきました。ブロックの反省、そしてブロック長としての反省を書きます。

まず今年の中長ブロックの活動として、まずは、男子800mで関東インカレ標準突破者が出たことが挙げられます。また、昨年まで伸び悩んでいた選手が今年になって開花し、対校戦で点を獲得した、といったことが多くあり、積み上げてきた中長ブロックとしての実力は確実に上がってきています。また、男子が箱根予選会へ10年振りに出場し、夢を目標に、そして一つの形として大成したこと。女子が関東大学女子駅伝で出るだけでなく、強豪校と競うレベルに上がったことも今年度の大きな成果だと思います。このような結果を出せた理由として、4年次の力が大きいと思います。4年間積み上げたものを今年発揮した選手が多く、中長ブロック全体にも良い波を起こすことができました。

次にブロック長としての自分の反省を書きます。今年は1年次が多数入部し、賑やかになったこの環境を活かして、部活全体に勢いを付けられるようなブロックを目指したのですが、自分が上手くブロックをまとめ上げることが出来ず、途中からは中長男子をまとめ上げることに精一杯になってしまい、中長女子の方は女子の駅伝主将である廣瀬に頼りっきりになってしまいました。また競技でも目立った結果を残すことが出来ず、この1年間はただ自分の責任感、リーダーシップの無さを痛感することになりました。中長ブロックの方々には多大なご迷惑をおかけしました。

昨年の11月からは中長ブロックは、中長男子ブロックと中長女子ブロックに分けるという新しい試みをしました。中長男子ブロックは田村が、中長女子ブロックは金子が、それぞれブロック長に就任しました。2人とも茨大の中長距離を強くしたいという熱意に溢れています。中長ブロックがさらに強くなるようサポートしていきたいです。

跳躍ブロックの反省

前跳躍ブロック長 大塚美穂

今年度の跳躍ブロックは、4月に小沼、小谷野、芝崎の3名が加わり、総勢12名で活動してきました。競技面においては、関東インカレの標準を突破したり、対校戦で表彰台上がったりと、1年次の活躍が目立ちました。また、ブロック員の半数以上がベストを更新するなど、うれしい結果もありました。しかし、ベストを更新できたとはいえ、今の記録のままでは他大と戦っていくことが難しいのが現状です。もっと普段の練習から、全体の競技力の底上げをしていけるように考えて取り組むべきであったと反省しています。

ブロックの全体的な面での反省としては、けが人を多く出してしまったことが一番に挙げられます。ブロック員のほとんどがシーズン中にけがをしまい、対校戦をまともに戦うことができませんでした。原因としては、ケア不足と跳躍の衝撃に耐えることのできる体づくりができていなかったことが挙げられると思います。今回挙げられた反省に関しては、現ブロック長の大貫を中心にブロック全体で話し合い、改善に向けて取り組んでいきます。私はこれから、ブロック長という役職を通して学んだことや経験をしっかりと次の代に伝え、よりよいブロックになっていけるようにサポートをしていけたらと思っています。

投擲ブロックの反省

前投擲ブロック長 富岡泰資

今年度投擲ブロックは新たに島田、千葉対校後から短距離ブロックのメンバーであった中浦を加え総勢10名で活動してきました。前年度からのメンバーも多くが残りさらに賑やかで活気のあるブロックになりました。また、競技面においては新たに加入をした2名の活躍が著しく目立ったシーズンであったと感じます。

今シーズンを振り返ると、関東インカレでの中浦のやり投での3位入賞、円盤投での茨大記録更新、島田の日本ジュニア標準突破・8位入賞、茨大記録更新などをはじめとし、多くの者が自己ベストを更新することができました。前年度からさらにブロック全体としての競技力が向上していたように思います。しかしその一方怪我で苦しむ者、思うような結果がなかなか出ずに苦しんだ者などもおり、反省点も多々あったように感じます。

1年間、ブロック長をやらせていただく中で様々なことを考えさせられ、悩み苦しむ事も多くありましたが、この1年で得た経験などを次の世代に伝えていき、今後新しくなる投擲ブロックに活かしていきたいと思っています。

マネージャーブロックの反省

前マネージャーブロック長 石堀美柚

今年度、マネージャーブロックは、1年次の片見を加え、総勢4名で活動してまいりました。新たな取り組みとして、衛生面に気を付け、ジャグやボトルの体制を整えたり、夏季練習の際の給水の徹底を図ったりし、練習環境をより良くするために自分たちからできることを実行してきました。また、緊急連絡の病院リストを大会ごとに作成し、試合時の怪我に対応できるような事前準備を行うようにしました。前シーズン、ばたばたともたついていたような場面も、ブロック員と役割分担を行い、一人一人が責任をもって行動することで、余裕をもつことができたように感じます。

しかし、その中で、いざ選手に緊急の事態が発生した時に、その場でリーダーシップがとれるような知識や行動力は備わっておらず、マネージャーとして未熟な面もみられました。その日に当たり前にやるべきことを、自分の考えのもとで動くことができても、周囲のことに敏感になり、求められていることに即座に対応する、という能力はまだまだ足りないと感じています。ブロックとしてワンランクレベルを上げるために、選手との些細なコミュニケーションを大切にし、自分がやるべきことを常に探して部活動に取り組む姿勢が必要であることを強く感じた一年でした。選手の方に指摘されて気づく現状を、非常に情けなく感じます。自分たちの価値は自分たちで高めていく、という意識を持たないと、成長には繋がりません。

このたび、ブロック長を海野に引き継ぎました。4人という人数を活かしたサポートを行うために、海野や宮本を中心にブロック内での情報共有をより活発にしていき、常に感謝の気持ちをもって活動を行っていきます。まだまだ未熟で至らない点も多くありますが、今後ともマネージャーブロックをよろしくお願いいたします。

日立ブロックの反省

前日立ブロック長 樋口卓哉

今年度は11人での活動となりました。競技面では自己ベストを出した人が5人と前年度と同じようにおよそ半分という結果になりました。日立では授業などの関係で時間帯が合わず、全体で練習できないという環境下にあります。しかしそんな環境下とわかっている中で、自分の時間を見つけ、一人でやることで得られる経験値が少なくともそれをカバーして練習に取り組む強い姿勢が足りなかったからではないかと思えます。そして一人で考えてやってみてもうまくいかなかったり、調子が出なかつたりすることもあると思えます。そんな時に一緒に練習できなくても相談できるようなそんなチームワークも必要だと思えます。

これは日立間だけでなく、水戸と日立の間での関係でもいえると思えます。遠い距離でなかなか一緒に練習できない同士であるのでお互いに相談にのり、陸上部全体として士気をあげられるようなそんな日立ブロックしていきたくったと今となって感じています。

来年度は偉大で仲間想いな4年次が抜けて、1年次が入ってきます。1年次は新しい環境でわからないことも多いと思うので残りの日立ブロックメンバーが支えながら、協力し合い、仲の良い日立ブロックを作り上げてほしいと思えます。

Ⅱ. 2016 年度活動報告

2016 年活動報告

| 日程 | 大会名 | 場所 |
|----------|-------------------------------|-------------------------|
| 5/19～22 | 第 95 回関東学生陸上競技対校選手権大会(関東インカレ) | 日産スタジアム(神奈川) |
| 6/10～12 | 2016 日本学生陸上競技個人選手権大会 | Shonan BMW スタジアム平塚(神奈川) |
| 7/1～3 | 第 71 回茨城県陸上競技選手権大会 | 笠松運動公園陸上競技場(茨城) |
| 8/7 | 第 51 回千葉大学茨城大学対校陸上競技定期戦 | 千葉県総合スポーツセンター(千葉) |
| 8/18～21 | 第 89 回関東陸上競技選手権大会 | 千葉県総合スポーツセンター(千葉) |
| 8/25～26 | 第 65 回関東甲信越大学体育大会 | 山梨中銀スタジアム(山梨) |
| 9/9～10 | 第 48 回関東理工系学生対校陸上競技大会 | 鴻巣市立陸上競技場(埼玉) |
| 9/19～21 | 第 31 回国公立 26 大学対校陸上競技大会 | Shonan BMW スタジアム平塚(神奈川) |
| 9/25 | 第 22 回関東大学女子駅伝対校選手権大会 | 印西市千葉ニュータウン(千葉) |
| 10/15 | 第 93 回東京箱根間往復大学駅伝競走予選会 | 昭和記念公園(東京) |
| 10/30 | 第 67 回北関東五大学対校陸上競技大会 | 正田醤油スタジアム(群馬) |
| 12/4 | 第 71 回三浜駅伝競走大会 | ひたちなか(那珂湊) |
| 12/18 | 第 17 回荒川河川敷大学対校駅伝競走大会 | 荒川河川敷(東京) |
| 12/23～25 | 宇都宮・千葉・群馬・高崎経済大学合同合宿 | 阿字ヶ浦海岸 |
| 1/14 | 第 14 回国公立 26 大学対校駅伝大会 | 熊谷スポーツ文化公園(埼玉) |
| 1/29 | 第 65 回勝田全国マラソン | ひたちなか |



関東甲信越大学体育大会

i)大会後記

第 95 回関東学生陸上競技対校選手権大会

(2016/5/19～22 日産スタジアム：神奈川)

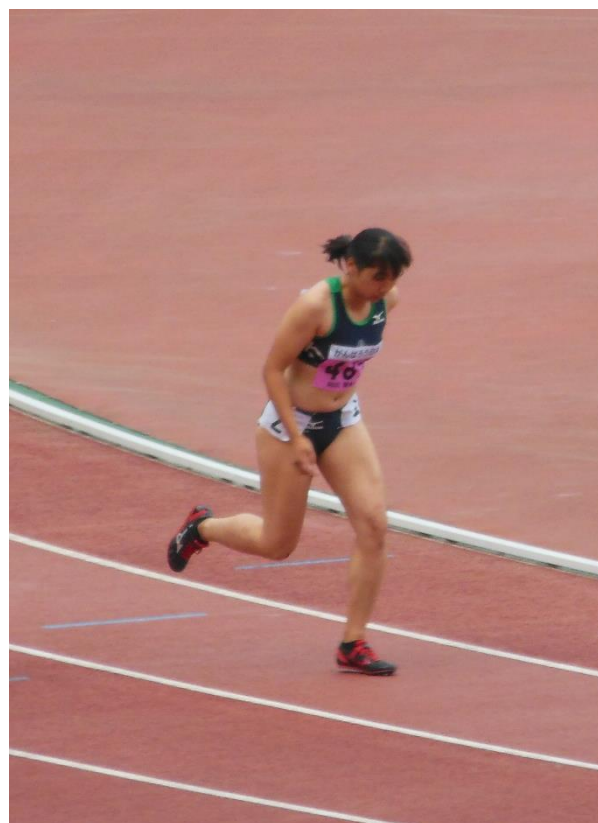
今年の関東インカレは5/19～5/22まで、横浜の日産スタジアムで行われました。今年度はリレーを含め、男子15名女子10名で、計25名の選手が出場しました。例年よりも出場者数も多く、特に初出場者が多い試合となりました。修士1年次の荒井が男子3部やり投で2位、3年次の中浦が男子2部やり投で3位入賞と投擲ブロックが存在感を示しました。しかし投擲種目2種目のみの入賞にとどまり、またPBを出す人も2名と大きな試合で十分に力を発揮できなかった印象です。

出場者数も増えたことから、部の戦力の底上げは図れてきてはいるものの、その一つ上のステップへ上がれていない者が多い現状です。来年度の関東インカレでは、出場者数の増加はもちろん、関東の大学と闘うレベルに引き上げられるよう切磋琢磨していきます。(文責：宮本 秀斗)

関東インカレ結果(出場者)

| 種目 | 名前 | 記録 | 順位 |
|-------------|-------------------|--|----|
| 男子100m予選 | 柰家 弘樹 | 11.04(+1.9) | |
| 男子400m予選 | 宮本 秀斗 | 49.10 | |
| 男子400m準決勝 | 宮本 秀斗 | 49.70 | |
| 男子400mH予選 | 川原 直之 | 54.64 | |
| 男子3000mSC予選 | 小野 隼太 | 9.22.20 | |
| 男子4×100mR予選 | 木村(優)・齋藤(海)・柰家・安井 | 41.86 | |
| 男子4×400mR予選 | 柰家・宮本・齋藤(海)・川原 | 3.17.44 | |
| 男子棒高跳決勝 | 堀尾 佳希 | NM | |
| | 木内 智也 | NM | |
| 男子砲丸投決勝 | 栗原 寿幸 | 10m92 | |
| 男子円盤投決勝 | 栗原 寿幸 | 36m03 | |
| 男子やり投決勝 | 中浦 凌馬 | 62m62 | 3位 |
| | 川嶋 康祐 | 57m55 | |
| 男子ハンマー投決勝 | 富岡 泰資 | 38m82 | |
| 男子十種競技 | 堀尾 佳希 | 100m 11" 45(-1.1) 走幅跳 6m15(+1.5) 砲丸投 9m73 走高跳 1m50 400m 53" 35 110mH 16" 55(-0.1) 円盤投 24m16 やり投 40m63 棒高跳 3m60 1500m 5' 17" 30 5354点 | |

| | | | |
|-------------|----------------|---|----|
| 男子3部やり投決勝 | 荒井 啓輔 | 53m78 | 2位 |
| 女子3000mSC決勝 | 高野 美幸 | 11.33.79 | |
| 女子4×100mR予選 | 後藤・鈴木・高橋・大塚(美) | 49.55 | |
| 女子4×400mR予選 | 鈴木・後藤・小林・蛭名 | 4.03.77 | |
| 女子円盤投決勝 | 神山 結衣 | 41m10 | |
| 女子やり投決勝 | 島田 夏純 | 41m25 | |
| 女子七種競技 | 大塚 美穂 | 100mH 16" 05(-0.1) 走高跳 1m45 砲丸投 9m09 200m 28" 16(+0.0) 走幅跳 4m80(+0.0) やり投 39m84 800m 2' 35" 90 4153点 | |



第 51 回千葉大学茨城大学陸上競技大会

(2016/8/7 千葉県総合スポーツセンター：千葉)

本大会は千葉大学主催で行われました。男女総合優勝を目標で挑むなか、4年次の菊池が男子 800m で大幅な自己ベストの更新が印象的でした。また 1 年次の島田が女子やり投げで大会記録を更新したことを筆頭にフィールドの 1 年次がとても活躍していました。結果的に男子は優勝を逃してしまいましたがチームや個人の課題が浮き彫りになった試合となりました。

来年度は茨城大学主催の茨城開催となります。男女総合優勝を目標に、運営においてもチーム一丸となって頑張っていきます。(文責：柰家弘樹)

千葉対校結果(優勝者)

| 種目 | 記録 | 氏名 |
|------------|-------------|-------------------|
| 男子 100m | 10.90(+1.5) | 柰家 弘樹 |
| 男子 200m | 22.10(+1.0) | 柰家 弘樹 |
| 男子 4×100mR | 42.00 | 宮本・齋藤(海)・柰家・木村(優) |
| 男子 棒高跳 | 4m60 | 木内 智也 |
| 男子 円盤投 | 37m83 | 中浦 凌馬 |
| 男子 やり投 | 59m83 | 中浦 凌馬 |
| 女子 100m | 12.83(+0.3) | 後藤 晴菜 |
| 女子 1500m | 4.51.53 | 廣瀬 未来 |
| 女子 100mH | 15.17(+2.3) | 高橋 美緒 |
| 女子 400mH | 65.41 | 小林 莉菜 |
| 女子 4×100mR | 49.72 | 後藤・鈴木・高橋・大塚(美) |
| 女子 4×400mR | 4.01.71 | 小林・鈴木・後藤・蛭名 |
| 女子 走高跳 | 1m60 | 芝崎 祐美 |
| 女子 走幅跳 | 5m61 | 後藤 晴菜 |
| 女子 やり投 | 45m31 | 島田 夏純 |

第 65 回関東甲信越大学体育大会

(2016/8/25～26 山梨中銀スタジアム：山梨)

第 65 回関東甲信越大学体育大会は山梨中銀スタジアムで開催されました。2 日間共に天候に恵まれましたが、盆地ということもあり厳しい暑さとの戦いともなりました。結果としましては、去年と同様にフィールド勢の活躍が目立ちました。男女総合は共に去年よりも 1 つ順位を上げ、男子 4 位、女子 3 位という結果を収めることができましたが、あと 1 歩のところ点数を取り切れないという悔しい思いをした選手が多かったように感じます。茨大が着々と力をつけているのと同時に、他大のレベルもどんどん上がってきていることを痛感した大会ともなりました。関東甲信越の大学の中でも人数が多い茨城大学。人数で勝つのではなく、実力で勝つことができるように日々精進していきたいと思えます。(文責：鈴木杏奈)

関甲信結果(入賞者)

| 種目 | 記録 | 氏名 | 順位 |
|------------|-------------|----------------------|-----|
| 男子 100m | 11.16(-1.3) | 李家 弘樹 | 3 位 |
| 男子 200m | 22.24(-0.2) | 李家 弘樹 | 4 位 |
| | 22.50(-0.2) | 齋藤 海斗 | 7 位 |
| 男子 800m | 1.57.30 | 小澤 晃太郎 | 4 位 |
| 男子 1500m | 4.07.61 | 菊池 直人 | 5 位 |
| 男子 5000m | 16.21.62 | 藤井 駿丞 | 8 位 |
| 男子 110mH | 15.88(-2.3) | 立林 和歩 | 7 位 |
| 男子 3000mSC | 9.57.39 | 山本 智晴 | 6 位 |
| 男子 4×100mR | 42.69 | 木村(優)・齋藤(海)・李家・堀尾 | 7 位 |
| 男子 4×400mR | 3.25.56 | 李家・齋藤(海)・木村(大)・伊藤(俊) | 7 位 |
| 男子 走高跳 | 1m90 | 小沼 祐希 | 4 位 |
| 男子 棒高跳 | 4m60 | 木内 智也 | 1 位 |
| 男子 砲丸投 | 10m16 | 栗原 寿幸 | 7 位 |
| 男子 円盤投 | 35m45 | 中浦 凌馬 | 6 位 |
| | 33m87 | 栗原 寿幸 | 7 位 |
| 男子 ハンマー投 | 43m53 | 富岡 泰資 | 4 位 |
| 男子 やり投 | 63m45 | 中浦 凌馬 | 1 位 |
| 女子 200m | 26.63(-3.0) | 後藤 晴菜 | 7 位 |
| 女子 400m | 58.80 | 鈴木 杏奈 | 4 位 |
| | 60.19 | 小林 莉菜 | 6 位 |
| 女子 1500m | 4.46.51 | 廣瀬 未来 | 1 位 |
| | 4.59.03 | 荒井 芽衣 | 6 位 |
| 女子 5000m | 17.50.65 | 廣瀬 未来 | 2 位 |
| | 18.00.47 | 金子 美鈴 | 3 位 |
| | 19.18.34 | 山崎 ひかる | 8 位 |
| 女子 100mH | 15.38(-2.7) | 高橋 美緒 | 6 位 |
| 女子 400mH | 65.22 | 小林 莉菜 | 3 位 |
| | 65.36 | 蛭名 史織 | 4 位 |
| | 66.20 | 堀邊 美咲 | 5 位 |
| 女子 4×100mR | 49.69 | 後藤・鈴木・蛭名・大塚(美) | 6 位 |
| 女子 4×400mR | 4.01.59 | 小林・鈴木・後藤・蛭名 | 4 位 |
| 女子 走高跳 | 1m60 | 芝崎 祐美 | 2 位 |
| 女子 走幅跳 | 5m40(+1.2) | 後藤 晴菜 | 8 位 |
| 女子 円盤投 | 40m41 | 神山 結衣 | 1 位 |
| 女子 やり投 | 44m60 | 島田 夏純 | 2 位 |
| | 37m50 | 大塚 美穂 | 5 位 |
| 女子 砲丸投 | 11m84 | 神山 結衣 | 1 位 |

第 31 回国公立 26 大学対校陸上競技大会

(2016/9/19～21 Shonan BMW スタジアム平塚：神奈川県)

今年度の第31回国公立26大学対校陸上競技大会は、9月19日～21日に東京工業大学を主管校として神奈川県 Shonan BMW スタジアム平塚で行われました。結果としては男子総合16位・女子総合4位となり決して満足がいく結果ではありませんでした。その中でも1年次ながら女子やり投において茨大記録を更新して優勝した島田の活躍が見られました。台風が接近・直撃という悪条件ではありましたが、いかなる環境下でも記録を出すことが大切だと痛感させられました。

来年度は、もう1ステップ2ステップ上の舞台上で勝負し結果を残すことができるよう練習を積んでいきたいと思えます。(文責：神山結衣)

26 大学対校結果(入賞者)

| 種目 | 記録 | 氏名 | 順位 |
|-----------|-------------|-------------|----|
| 男子走高跳 | 1m95 | 小沼祐希 | 3位 |
| 男子やり投 | 61m32 | 中浦凌馬 | 3位 |
| 男子十種競技 | 5412点 | 堀尾佳希 | 7位 |
| 女子400m | 59.10 | 鈴木杏奈 | 7位 |
| 女子1500m | 4.46.03 | 廣瀬未来 | 6位 |
| 女子5000m | 17.46.07 | 廣瀬未来 | 3位 |
| 女子400mH | 66.10 | 小林莉菜 | 6位 |
| 女子4×100mR | 49.89 | 後藤・鈴木・蛭名・小林 | 6位 |
| 女子4×400mR | 3.59.55 | 鈴木・蛭名・堀邊・小林 | 5位 |
| 女子走高跳 | 1m55 | 芝崎祐美 | 5位 |
| 女子走幅跳 | 5m57 (+4.0) | 後藤晴菜 | 7位 |
| 女子砲丸投 | 11m95 | 神山結衣 | 1位 |
| 女子円盤投 | 39m26 | 神山結衣 | 2位 |
| | 31m29 | 安田萌 | 7位 |
| 女子やり投 | 48m20 | 島田夏純 | 1位 |
| | 38m36 | 安田萌 | 6位 |
| 女子七種競技 | 4163点 | 大塚美徳 | 3位 |

第 22 回関東大学女子駅伝対校選手権大会

(2016/9/25 印西市千葉ニュータウン周回コース：千葉)

9月25日に千葉県の印西市にて、第22回関東大学女子駅伝対校選手権大会が開催されました。オーダーは1区から、廣瀬、福島、荒井、増田、大塚、高野で総合18位という結果でした。目標としていた20位以内を達成することができ、今年度初となる駅伝としては良いスタートが切れたのではないかと思います。しかし、上位校との差を実感させられる大会となりました。今大会は1年生も走っており、まだまだ若いチームです。来年、再来年と上の順位を目指して頑張ってもらいたいと思います。(文責：高野美幸)

関東大学女子駅伝(30.6km) 総合18位

| | 1区(4.6km) | 2区(4.5km) | 3区(3.3km) | 4区(5.8km) | 5区(4.6km) | 6区(7.8km) |
|----|------------|------------|------------|--------------|--------------|--------------|
| 氏名 | 廣瀬 未来 | 福島 清香 | 荒井 芽衣 | 増田 梨沙 | 大塚 千穂 | 高野 美幸 |
| 区間 | 16.50 | 15.56 | 12.22 | 22.43 | 17.30 | 28.15 |
| 順位 | (区間21位) | (区間18位) | (区間17位) | (区間22位) | (区間19位) | (区間16位) |
| 総合 | 16.50(21位) | 32.46(19位) | 45.08(20位) | 1:07.51(20位) | 1:25.21(20位) | 1:53.36(18位) |



第 93 回東京箱根間往復大学駅伝競走予選会

(2016/10/15 陸上自衛隊立川駐屯地・国営昭和記念公園：東京)

10月15日陸上自衛隊立川駐屯地において「第93回 東京箱根間往復大学駅伝競走予選会」が開催され、2006年以来10年ぶりとなる茨城大学の出場となりました。参加標準記録である5000m：16分30秒を10人突破しないとこの大会には出場することはできず、ここ数年あと数人という状態が続いていましたが、ようやく今年この参加資格を突破し念願の予選会出場を果たしました。トップレベルが集まるレースで会場の雰囲気もより一層拍車がかかっていました。地方新聞にも取り上げていただき周りの方々からの多くの注目と、自分たち自身の高い目標をもって臨んだレースでしたが、結果は惨敗。全50チーム中47位という成績でした。多くの課題や反省が挙げられましたが、総じて経験値の無さが痛手だったと痛感しました。しかし、今回のレースで予選会がどういうものかを知り、課題に対して的確な対応を来年から立てることができます。今回の経験を糧にして来年以降連続出場を果たし、茨城大学陸上競技部の新たな歴史を刻んでいってほしいです。(文責：山本智晴)

箱根予選会結果(20km) 総合順位 47位 11:44.45(上位10人)

| 氏名 | 記録 | 順位 | 氏名 | 記録 | 順位 |
|-------|---------|-----|--------|---------|-----|
| 山本 智晴 | 1:08.25 | 425 | 田村 元 | 1:10.54 | 503 |
| 藤井 駿丞 | 1:08.48 | 438 | 小澤 晃太郎 | 1:11.37 | 521 |
| 大内 一真 | 1:09.22 | 455 | 長谷川 大輔 | 1:11.59 | 533 |
| 小野 隼太 | 1:09.45 | 465 | 菊池 直人 | 1:12.43 | 550 |
| 齊藤 鉄 | 1:10.28 | 490 | 半澤 裕太 | 1:13.14 | 558 |
| 平塚 悠太 | 1:10.44 | 500 | 柳町 直 | 1:13.53 | 563 |



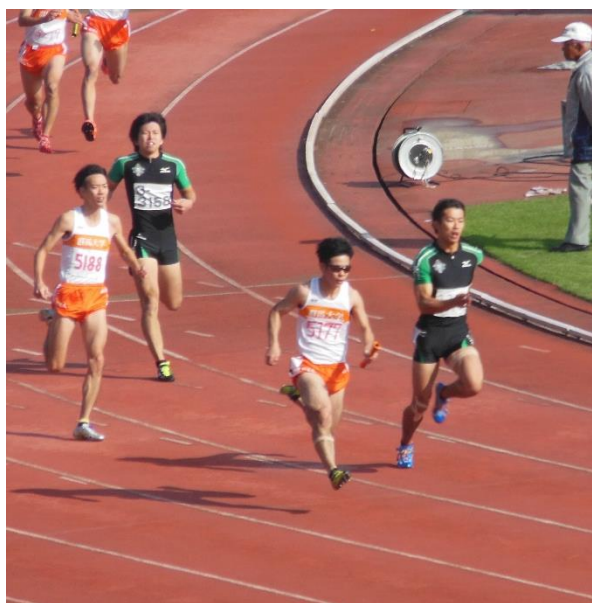
第 67 回北関東五大学対校陸上競技大会

(2016/10/30 正田醤油スタジアム群馬：前橋)

今年度の北関東五大学対校陸上競技大会は、正田醤油スタジアムにおいて開催されました。昨年は、男女ともにトラック、フィールド、総合全てで1位をとることができたので、今年も男女とも優勝を目標としていました。結果は、女子は優勝することが出来ましたが、男子は2位でした。茨大としての目標には届かなかったが、茨大新を樹立する者や関東インカレのB標準を突破する者などがいたことが良かったと思います。来年は、全員がベストを出し、男女でアベック優勝できるように、日々の練習に取り組んで欲しいと思います。(文責:小澤晃太郎)

北関東五大学対校結果(優勝者)

| 種目 | 記録 | 氏名 |
|------------|-------------|-------------------|
| 男子 100m | 11.09(-0.5) | 柰家 弘樹 |
| 男子 200m | 22.16(-0.3) | 柰家 弘樹 |
| 男子 400m | 49.57 | 川原 直之 |
| 男子 800m | 1.55.70 | 小澤 晃太郎 |
| 男子 1500m | 4.05.93 | 菊池 直人 |
| 男子 110mH | 15.67(+0.5) | 立林 和歩 |
| 男子 4×100mR | 41.93 | 木村(優)・齋藤(海)・柰家・宮本 |
| 男子 棒高跳 | 4m20 | 堀尾 佳希 |
| 男子 円盤投 | 41m77 | 中浦 凌馬 |
| 男子 やり投 | 62m44 | 中浦 凌馬 |
| 女子 400m | 58.69 | 鈴木 杏奈 |
| 女子 1500m | 4.47.58 | 高野 美幸 |
| 女子 3000m | 10.26.33 | 高野 美幸 |
| 女子 400mH | 64.38 | 小林 莉菜 |
| 女子 4×400mR | 4.00.39 | 小林・鈴木・後藤・佐久間 |
| 女子 砲丸投 | 11m62 | 神山 結衣 |
| 女子 円盤投 | 41m29 | 神山 結衣 |
| 女子 やり投 | 48m78 | 島田 夏純 |



第 71 回 三浜駅伝競走大会

(2016/12/4 ひたちなか)

12月4日、那珂湊港を発着点として三浜駅伝競走大会が開催され、茨城大学からは男子3チーム、女子1チームが出場しました。男子Aチームは総合優勝を目標に掲げて望んだ試合でしたが、昨年僅差で敗れたチームに今回は大きく差を広げられ、総合3位と悔しい結果に終わりました。またBチーム、Cチームも、両チーム競い合って最後まで襷をつなげました。女子は一般の部で優勝し、3年連続の優勝となりました。男女ともに、これから始まる駅伝に向けて良い弾みをつけることができました。上級生が多いチームなので、来年は新しい力でさらにレベルアップし、茨城大学の存在感を示していきたいです。(文責：増田梨沙)

三浜駅伝男子結果(33.9km) Aチーム 一般男子一部 2位 総合3位

| | 1区(6.1km) | 2区(7.5km) | 3区(3.3km) | 4区(6.8km) | 5区(4.5km) | 6区(5.7km) |
|----|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 氏名 | 大内 一真 | 小野 隼太 | 菊池 直人 | 藤井 駿丞 | 半澤 裕太 | 山本 智晴 |
| 記録 | 19.28 | 23.31 | 10.10 | 21.33 | 14.35 | 17.38 |
| 順位 | (区間5位) | (区間3位) | (区間2位) | (区間4位) | (区間3位) | (区間2位) |
| 総合 | 19.28 | 42.59 | 53.09 | 1:14.42 | 1:29.17 | 1:46.55 |

Bチーム 一般男子二部 7位

| | 1区(6.1km) | 2区(7.5km) | 3区(3.3km) | 4区(6.8km) | 5区(4.5km) | 6区(5.7km) |
|----|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 氏名 | 伊藤 裕紀 | 長谷川大輔 | 大松 泰雅 | 平塚 悠太 | 中島 佑介 | 樋口 卓哉 |
| 記録 | 19.52 | 25.36 | 11.02 | 23.07 | 16.02 | 18.39 |
| 順位 | (区間10位) | (区間11位) | (区間7位) | (区間10位) | (区間9位) | (区間6位) |
| 総合 | 19.52 | 45.28 | 56.30 | 1:19.37 | 1:35.39 | 1:54.18 |

Cチーム 一般男子二部 5位

| | 1区(6.1km) | 2区(7.5km) | 3区(3.3km) | 4区(6.8km) | 5区(4.5km) | 6区(5.7km) |
|----|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 氏名 | 小澤晃太郎 | 田村 元 | 中島 康平 | 本田 峻 | 柳町 直 | 中里 純也 |
| 記録 | 19.15 | 25.17 | 10.28 | 23.18 | 15.34 | 18.47 |
| 順位 | (区間4位) | (区間8位) | (区間3位) | (区間11位) | (区間4位) | (区間8位) |
| 総合 | 19.15 | 44.32 | 55.00 | 1:18.18 | 1:33.52 | 1:52.39 |

三浜駅伝女子結果(20.2km) 一般女子 1位

| | 1区(6.2km) | 2区(5.1km) | 3区(3.7km) | 4区(1.9km) | 5区(3.1km) |
|----|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 氏名 | 高野 美幸 | 荒井 芽衣 | 大塚 千穂 | 山崎ひかる | 増田 梨沙 |
| 区間 | 22.08 | 18.38 | 13.27 | 7.00 | 10.49 |
| 順位 | (区間1位) | (区間2位) | (区間2位) | (区間1位) | (区間1位) |
| 総合 | 22.08 | 40.46 | 54.13 | 1:01.13 | 1:12.02 |

第 17 回荒川河川敷大学対校駅伝競走大会

(2016/12/18 荒川河川敷：東京)

今回で 17 回目を迎える荒川駅伝には、今年は男女ともに対校 1 チーム出場しました。男子は 1 区から、小野、平塚、半澤、山本、小澤、藤井のオーダーで 2 時間 16 分 13 秒で、総合 11 位でした。今回は万全なメンバーで臨むことはできず、他大学との差を昨年以上に感じた大会となりました。しかし、一人一人国公立 26 大学駅伝で戦うイメージを掴むことができました。女子は 1 区から、高野、増田、荒井、廣瀬、大塚のオーダーで臨みました。1 区の高野が目標以上のタイムで走り、チームに勢いをつけました。そこから先頭を譲ることなく、2 時間 4 分 54 秒という 2 位に 10 分以上差をつけるタイムで優勝しました。昨年からゴールタイムを約 5 分以上近く短縮し、4 人が区間賞を獲得しました。今回は上級生の活躍が目立ちましたが、来季以降は走ったメンバーが 3 人残るため 2 時間 4 分 8 秒の大会記録更新も見据えていきたいと思っています。各メンバー調子の良し悪しはありましたが良い点悪い点の両方の収穫があった大会となりました。また、応援の力の大切さを身に染みて感じた大会でもありました。(文責：廣瀬未来)

荒川駅伝男子結果 (42.195 km) 総合順位 11 位

| | 1 区 (10 km) | 2 区 (3 km) | 3 区 (8 km) | 4 区 (8 km) | 5 区 (5 km) | 6 区 (8.195 km) |
|----|-------------|--------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 氏名 | 小野 隼太 | 平塚 悠太 | 半澤 裕太 | 山本 智晴 | 小澤 晃太郎 | 藤井 駿丞 |
| 区間 | 31.05 | 9.30 | 25.59 | 26.01 | 16.23 | 27.15 |
| 順位 | (区間 8 位) | (区間 14 位) | (区間 12 位) | (区間 9 位) | (区間 12 位) | (区間 11 位) |
| 総合 | 31.05 (8 位) | 40.35 (10 位) | 1:06.34 (10 位) | 1:32.35 (10 位) | 1:48.58 (10 位) | 2:16.13 (11 位) |

荒川駅伝女子結果 (34 km) 総合順位 1 位

| | 1 区 (10 km) | 2 区 (3 km) | 3 区 (8 km) | 4 区 (8 km) | 5 区 (5 km) |
|----|-------------|-------------|---------------|---------------|---------------|
| 氏名 | 高野 美幸 | 増田 梨沙 | 荒井 芽衣 | 廣瀬 未来 | 大塚 千穂 |
| 区間 | 35.38 | 11.14 | 30.23 | 28.48 | 18.51 |
| 順位 | (区間 1 位) | (区間 2 位) | (区間 1 位) | (区間 1 位) | (区間 1 位) |
| 総合 | 36.42 (1 位) | 46.52 (1 位) | 1:17.15 (1 位) | 1:46.03 (1 位) | 2:04.54 (1 位) |

第 15 回国公立 26 大学対校駅伝大会

(2017/1/14 熊谷スポーツ文化公園：埼玉)

第 13 回国公立 26 大学対校駅伝大会が埼玉県の熊谷スポーツ文化公園で開催されました。男女共に対校 1 チーム、そしてオープン
は他の大学との合同チームも含め計 5 チームと、多くの部員が参加しました。対校男子は 8 位以内、対校女子は優勝を目標に掲げ、雪
が舞い、突風が吹き荒れる悪天候の中、選手と応援が一体となって戦いました。結果としては、対校男子は 9 位、対校女子は悲願の優
勝を成し遂げました。特に女子は 4 年次を中心として長年積み上げてきたものが結実し、大いに盛り上がりました。一方で男子は目標ま
であと一歩及ばず悔しい結果となりました。今大会をもって中長男子・女子ブロック合わせて 10 名が引退し、男女とも新しい時代に移っ
ていきます。男子は入賞校との差を毎日の練習で縮めていこうという気持ちを、女子は他大学から目標とされているのだという気持ちを
忘れずに、また 1 年練習を積み上げていければと思います。(文責:小野隼太)

26 大学対校駅伝結果(42.195km) 対校男子 総合順位 9 位

| | 1 区(11.570 km) | 2 区(3.005 km) | 3 区(8.360 km) | 4 区(5.450 km) | 5 区(5.450 km) | 6 区(8.360 km) |
|----|----------------|---------------|----------------|-----------------|----------------|----------------|
| 氏名 | 小野 隼太 | 小澤晃太郎 | 藤井 駿丞 | 半澤 裕太 | 田村 元 | 山本 智晴 |
| 区間 | 36.17 | 9.22 | 27.34 | 17.02 | 17.41 | 28.23 |
| 順位 | (区間 6 位) | (区間 9 位) | (区間 9 位) | (区間 7 位) | (区間 13 位) | (区間 10 位) |
| 総合 | 36.17(6 位) | 45.39(7 位) | 1 : 13.13(9 位) | 1 : 30.15(10 位) | 1 : 47.56(9 位) | 2 : 16.19(9 位) |

オープン男子 茨城大学 B

| | 1 区(11.570 km) | 2 区(3.005 km) | 3 区(8.360 km) | 4 区(5.450 km) | 5 区(5.450 km) | 6 区(8.360 km) |
|----|----------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| 氏名 | 大内 一真 | 平塚 悠太 | 中里 純也 | 中島 康平 | 本田 峻 | 長谷川大輔 |
| 区間 | 39.50 | 9.52 | 30.18 | 18.05 | 18.30 | 29.18 |
| 総合 | 39.50 | 49.42 | 1 : 20.00 | 1 : 38.05 | 1 : 56.35 | 2 : 25.53 |

26 大学対校駅伝結果(17.060 km) 対校女子 総合順位 1 位

| | 1 区(5.600 km) | 2 区(3.005 km) | 3 区(3.005 km) | 4 区(5.450 km) |
|----|---------------|---------------|---------------|----------------|
| 氏名 | 高野 美幸 | 大塚 千穂 | 荒井 芽衣 | 廣瀬 未来 |
| 区間 | 19.26 | 10.52 | 10.52 | 19.28 |
| 順位 | (区間 2 位) | (区間 1 位) | (区間 1 位) | (区間 1 位) |
| 総合 | 19.26(2 位) | 30.18(1 位) | 41.10(1 位) | 1 : 00.38(1 位) |

オープン女子 茨城大学 B

| | 1 区(5.600 km) | 2 区(3.005 km) | 3 区(3.005 km) | 4 区(5.450 km) |
|----|---------------|---------------|---------------|---------------|
| 氏名 | 増田 梨沙 | 金子 美鈴 | 山本麻友子 | 山崎ひかる |
| 区間 | 21.13 | 11.16 | 12.11 | 21.07 |
| 総合 | 21.13 | 32.29 | 44.40 | 1 : 05.47 |

第 65 回勝田全国マラソン

(2017/01/29 ひたちなか)

1月29日に第65回勝田全国マラソンが開催されました。院2年次、4年次がフルマラソンに、中長距離のメンバーが10kmに出場しました。当日は天候にも恵まれ、時折晴れ間ものぞかせる中を走ることができました。地域の方々による沿道からの応援や、5kmごとの部員からの応援を力に変えて、懸命にゴールを目指しました。関門などの関係もあり、残念ながら全員の完走とはなりませんでしたが、3位に入賞した高野をはじめ、各々がベストを尽くして走ることができました。また、10km女子39歳以下の部では、3年次廣瀬が4位、1年次大塚が5位、2年次金子が9位、3年次増田が10位と健闘しました。

42.195kmという長丁場の途中で足が痛くなったり、気持ちが折れそうになっても前へ進み続けられたのは、応援して下さった皆さんの力があつたからこそだと思います。多くの方々の支えを感じることができた大会となりました。(文責：藤井駿丞)

勝田全国マラソン結果

| 男子フルマラソン 39歳以下 (3007人中) | | | | | |
|-------------------------|----------|------|------------|----------|------|
| 氏名 | 記録 | 順位 | 氏名 | 記録 | 順位 |
| 藤井 駿丞 (4) | 02:55.56 | 187 | 平塚 悠太 (4) | 05:49.08 | 2847 |
| 山本 智晴 (4) | 03:13.42 | 438 | 堀尾 佳希 (4) | 05:49.08 | 2848 |
| 長谷川 大輔 (4) | 03:17.03 | 499 | 小澤 晃太郎 (4) | 05:58.43 | 2983 |
| 柳町 直 (4) | 03:24.28 | 615 | 本圖 理彦 (M2) | | 完走 |
| 菊池 直人 (4) | 03:46.18 | 985 | 宮本 秀斗 (4) | | 完走 |
| 安井 智哉 (4) | 05:47.37 | 2831 | 木村 大介 (4) | | 完走 |
| 女子フルマラソン 39歳以下 (447人中) | | | | | |
| 高野 美幸 (4) | 02:50.33 | 3 | 宮本 蘭子 (4) | 05:58.43 | 442 |
| 荒井 芽衣 (4) | 03:28.23 | 46 | 友常 結衣 (4) | | |
| 鈴木 杏奈 (4) | 05:49.08 | 404 | 安田 萌 (M2) | | |
| 渋谷 弥生 (4) | 05:57.41 | 436 | 渡邊 綾乃 (M2) | | |
| 女子10Km 39歳以下 (966人中) | | | | | |
| 廣瀬 未来 (3) | 36.41 | 4 | 増田 梨沙 (3) | 39.58 | 10 |
| 大塚 千穂 (1) | 38.02 | 5 | 山本 麻友子 (1) | 42.23 | 11 |
| 金子 美鈴 (2) | 39.51 | 9 | | | |

ii) その他の主な競技会の結果

茨城県選手権(2016) 8位入賞者

| 種目 | 記録 | 氏名 | 順位 |
|------------|-------------|-------------------|----|
| 男子 200m | 21.96(+0.6) | 柰家 弘樹 | 5位 |
| 男子 400m | 49.66 | 宮本 秀斗 | 3位 |
| 男子 800m | 1.57.87 | 小澤 晃太郎 | 7位 |
| 男子 5000m | 15.36.84 | 小野 隼太 | 6位 |
| 男子 3000msc | 9.36.52 | 小野 隼太 | 5位 |
| 男子 4×400mR | 41.70 | 木村(優)・齋藤(海)・柰家・安井 | 3位 |
| 男子 走高跳 | 1m95 | 小沼 祐希 | 3位 |
| 男子 棒高跳 | 4m20 | 木内 智也 | 5位 |
| 男子 円盤投 | 38m53 | 中浦 凌馬 | 7位 |
| 男子 十種競技 | 5230点 | 堀尾 佳希 | 3位 |
| | 5221点 | 木村 大介 | 4位 |
| 女子 400m | 58.64 | 鈴木 杏奈 | 4位 |
| | 61.25 | 小林 莉菜 | 8位 |
| 女子 1500m | 4.47.55 | 廣瀬 未来 | 4位 |
| | 5.02.73 | 荒井 芽衣 | 8位 |
| 女子 100mH | 15.63(-2.9) | 高橋 美緒 | 4位 |
| | 15.89(-2.9) | 蛭名 史織 | 5位 |
| 女子 400mH | 1.06.34 | 小林 莉菜 | 5位 |
| | 1.10.12 | 堀邊 美咲 | 8位 |
| 女子 4×100mR | 49.82 | 後藤・蛭名・大塚(美)・小林 | 3位 |
| 女子 4×400mR | 3.56.27 | 後藤・鈴木・小林・蛭名 | 2位 |
| 女子 走高跳 | 1m50 | 芝崎 祐美 | 8位 |
| 女子 走幅跳 | 5m66 | 後藤 晴菜 | 1位 |
| 女子 やり投 | 40m05 | 安田 萌 | 8位 |
| 女子 七種競技 | 4082点 | 大塚 美穂 | 2位 |

その他の競技会(入賞者のみ記載)

| 大会名 | 日時 | 種目 | 記録 | 氏名 | 順位等 |
|--------|---------|---------|-------|-------|-----|
| 栃木県選手権 | 5/27~29 | 女子 円盤投 | 38m64 | 神山 結衣 | 2位 |
| 静岡県選手権 | 7/9~10 | 男子 やり投 | 58m62 | 川嶋 康介 | 7位 |
| 福島県選手権 | 7/14~17 | 女子 やり投 | 46m13 | 島田 夏純 | 2位 |
| 関東選手権 | 8/19~21 | 女子 七種競技 | 4041点 | 大塚 美穂 | 5位 |

iii) その他の活動

協力審判員

私たち茨城大学陸上競技部は、競技者としてだけではなく、協力審判員としても陸上競技に関わっています。今年度も笠松スポーツフェスティバルや中学生の陸上記録会を中心に参加させていただきました。この活動では、普段と違う視点から陸上競技に携わることで、競技者として大きく成長することができました。また、競技と向き合う良い機会となり、理解を深めることができました。さらに、大会運営の方法や大変さも知ることができる機会でもあります。今後もこの機会を大事にして活動していきたいと思えます。(文責：齋藤海斗)

主な審判員活動の内容

跳躍審判, 投擲審判, 監察員, 周回記録員, 風力計測員, 写真判定員, 記録員, 競技者係, 出発係, 光波計測員

2016 年度審判補助員活動一覧

| 月日 | 大会名 |
|---------|--------------------|
| 6/4 | 中学記録会 |
| 6/11 | 中学記録会 |
| 6/18 | 日清カップ |
| 6/19 | 笠松スポーツフェスティバル陸上記録会 |
| 6/25.26 | 全日本中学通信陸上競技大会 |
| 7/3~5 | 茨城県陸上競技選手権大会 |
| 7/9,10 | 茨城県中学総体 |
| 7/24 | 笠松スポーツフェスティバル陸上記録会 |
| 10/9.10 | 茨城県中学新人体育大会陸上競技 |

冬季合同合宿

12月23日～25日にかけて、阿字ヶ浦にて冬季合同合宿が行われました。茨城大学、宇都宮大学、千葉大学、群馬大学、高崎経済大学の5大学で行われ、1,2日目には県内の高校生も参加して合同練習を行いました。3日間、各ブロックに分かれ、阿字ヶ浦海岸の他、日立市陸上競技場、ひたち海浜公園、村松海岸を利用して練習を行い、最終日には、全員でエンドレスリレーを行いました。他大学の選手との合同合宿という、普段とは異なった環境の中で良い刺激を受けながら練習を行うことができました。練習中以外でも、他大の選手たちとの交流の機会を設けることができた良い機会となりました。部員全員が高いモチベーションを持ち、目的意識を定めて臨むことができた非常に有意義な合宿にすることができました。シーズンが始まれば、今回の合宿を共にした大学はライバルになります。お互いを高めあうとともに、負けないという意識を持ち続けていきたいです。(文責：立林和歩)

Ⅲ. 2017 年度シーズンの抱負

主将抱負

主将 川嶋康祐

私たち陸上競技部では、2017 年シーズンのチーム活動方針を「ギアチェンジ」としました。ギアは歯車、チームの一人一人が結束し、かみ合うという意味。チェンジは自己ベストを出すことや、競技への取り組む姿勢を変えることで、今までの自分から変わっていくという意味。そして以上の 2 つを足した、ギアチェンジ、部員全員が一つ上の段階を目指していく、そんなチームを作りたいと思っています。

また今年は千葉大学茨城大学陸上競技部定期戦の主催校となっております。OB、OG の方々にはたくさんお世話になると思いますが、スムーズな運営ができるよう精一杯がんばります。2018 年には北関東五大学対校戦の主催も控えているため、後輩たちの良い手本にもなれればと思っています。よろしく願い申し上げます。

主務抱負

主務 本吉広武

今年度は千葉対校の主催があることから、より一層主務という職に責任を感じます。主務という立場であるからこそ、見えてくるものがたくさんあると思います。それらをスタッフ、及び、チームで共有し、より良いチーム作りに繋げていくためには、主務として部全体に目を向け、しっかりとやるべき仕事を務めると共に、私自身が部の一員であり、主務であるという自覚を持たなければいけません。しかし、私一人の力ではチーム作りは出来ません。スタッフを始め、部員一人一人の協力が必要です。私がみなさんを頼る時もあれば、みなさんが私を頼ってくれる。そのような関係を作っていきたいと思っています。この一年、一つずつ丁寧に仕事に取り組み、尽力していきます。どうぞ宜しくお願いします。

短距離ブロック長の抱負

短距離ブロック長 立林和歩

短距離ブロック長を務めさせていただきます。立林和歩です。昨シーズンの大きな反省点は、国公立 26 大学対校戦で男子が対校得点を獲得することができなかった点です。男女ともに国公立 26 大学対校戦でより多くの得点を獲得し、チームに貢献するためには、関東インカレの標準突破者、関東インカレで勝負できる選手を一人でも多く出すべきであると考えています。

そのため、選手一人ひとりが己と向き合い、競技力向上が可能になるように、私が短距離ブロックを引っ張ります。

男子中長距離ブロック長の抱負

男子中長距離ブロック長 田村元

昨シーズンを振り返ると、国公立 26 大学対校戦では男子中長距離ブロックとして 1 点もとれず、その他の対校戦でも目立った活躍をすることができませんでした。そこで、来シーズンはトラックでしっかり戦えるブロックにしていきたいです。具体的には、長距離でも中距離練習を増やすなどスピードやレースを意識したメニューを作っていきます。また、3 年次の小野に続くエースが今はいないので、一人一人がレベルアップできるように最大限の努力をします。

昨年は 10 年ぶりに箱根駅伝の予選会に出場できました。先輩方がつくってきてくれた良い流れを引き継ぎ、日々精進していきたいと思います。3 月までは分からないことがあり、迷惑をかけることも出てくると思いますが、一生懸命頑張ります。

女子中長距離ブロック長の抱負

女子中長距離ブロック長 金子美鈴

今年度からは、中長ブロックが男女で分かれることになりました。ブロック員全員が一人ひとりのことをしっかり把握し、みんなで切磋琢磨しながら高めあえるブロックにしたいです。国公立 26 大対校駅伝で優勝、トラックレースでは全員自己ベストを出すということを目標に、高い意識で練習していきます。そのために自分自身精一杯努力し、競技面でもブロックを引っ張るといふ面でも頑張ります。一年間よろしくお祈いします。

跳躍ブロック長の抱負

跳躍ブロック長 大貫将人

昨年の反省点として自己ベストを出せなかった人が多くいたことが挙げられると思います。そのため今年はずまず全員自己ベストを目標にしていきたいです。そして目標のレベルとしては今シーズン中には全員が国公立 26 大学対校戦で入賞できるようなレベルを掲げていきたいです。

また、私はこれからの跳躍ブロックをメンバーが陸上競技を楽しむことができ、良い意味で目立つブロックにしていきたいと思っています。しかしそれらを達成するためにはメンバー全員が常にブロックや部、競技などについて考え、行動できるようにならなければいけません。そのため私はメンバーが考え、行動しやすい環境を整えることに力をいれていきたいと考えています。

これらの目標を達成できるようにブロック長として力を尽くしていきますので、一年間よろしくお祈い致します。

投擲ブロック長の抱負

投擲ブロック長 川嶋康祐

昨年の投擲ブロックは、各対校戦で結果を残してきました。しかし、関東インカレでの活躍は未だ少なく、日本インカレには出場者がいません。この現状に満足はできません。私は、投擲ブロックは関東インカレ、日本インカレで部を引っ張っていく存在になるべき、なれるブロックだと思っています。この冬の冬季練習を越え、投擲ブロックを更に強く頼りになるブロックへと進化させます。これが投擲ブロック長の私の決意であり、抱負です。

マネージャーブロック長の抱負

マネージャーブロック長 海野優佳

マネージャーブロックは、常に全体を見渡し、選手が必要としているサポートに自ら気づき、自ら行動する力を強くしていきたいと思います。そのために、選手と日頃からコミュニケーションをとり、どんなことに悩んでいるのか、どんなことをしてほしいのかを積極的に学ぶ姿勢を大切にしていきたいです。また、部員全員が前向きに、自分の目標に向かってひた走ることができるような、居心地の良い環境づくりにも努めていきたいと思っています。ブロック員一同気を引き締めて選手を全力でサポートしていきます。一年間よろしくお願い致します。

日立ブロック長の抱負

日立ブロック長 半澤裕太

日立ブロックは少人数の活動で、お互いあまり一緒に練習する機会も少ないのですが、その分自分のやりたい練習をやりただけ行うことができます。ただ、それだけではモチベーションの低下やコミュニケーション不足になる恐れがあるので、ブロック員に意見をもらいながら工夫して活動していければと思います。

今年度から新たに3人が日立ブロックに加わります。3人が日立に来て伸び伸びとできるように、そして日立ブロックが人間面でも競技面でも陸上部に欠かせない存在になれるよう、これからも活動していきます。

IV. 2017 年度活動予定

2017 年活動予定

| 日程 | 大会名 | 場所 |
|----------|-------------------------------|-------------------------|
| 5/25～28 | 第 96 回関東学生陸上競技対校選手権大会(関東インカレ) | 日産スタジアム(神奈川) |
| 6/9～11 | 2017 日本学生陸上競技個人選手権大会 | Shonan BMW スタジアム平塚(神奈川) |
| 6/23～25 | 第 101 回日本陸上競技選手権大会 | ヤンマースタジアム長居(大阪) |
| 6/30～7/2 | 第 72 回茨城県陸上競技選手権大会 | 笠松運動公園陸上競技場(那珂) |
| 8/ | 第 52 回千葉大学茨城大学対校陸上競技定期戦 | 日立市民運動公園陸上競技場(日立) |
| 8/18～20 | 第 90 回関東陸上競技選手権大会 | (埼玉) |
| 8/22～24 | 第 66 回関東甲信越大学体育大会 | 千葉総合スポーツセンター陸上競技場(千葉) |
| 9/8～10 | 第 86 回日本学生陸上競技対校選手権大会(日本インカレ) | 福井運動公園陸上競技場(福井) |
| 9/ | 第 49 回関東理工系学生対校陸上競技大会 | 鴻巣市立陸上競技場(埼玉) |
| 9/15～17 | 第 28 回関東学生新人陸上競技選手権大会 | 相模原ギオンスタジアム(神奈川) |
| 9/15～17 | 第 32 回国公立 26 大学対校陸上競技大会 | 正田醤油スタジアム(群馬) |
| 9/24 | 第 23 回関東大学女子駅伝対校選手権大会 | 印西市千葉ニュータウン(千葉) |
| 9/30 | 第 68 回北関東五大学対校陸上競技大会 | 上尾(埼玉) |
| 10/6～10 | 第 72 回国民体育大会 | 松山(愛媛) |
| 10/14 | 第 94 回東京箱根間往復大学駅伝競走予選会 | 昭和記念公園(立川) |
| 12/3 | 第 72 回三浜駅伝競走大会 | ひたちなか(那珂湊) |
| 12/17 | 第 18 回荒川河川敷大学対校駅伝競走大会 | 荒川河川敷(北上) |
| 12/ | 宇都宮・千葉・群馬・高崎経済大学合同合宿 | 未定 |
| 1/ | 第 17 回国公立 26 大学対校駅伝大会 | 熊谷スポーツ文化公園(熊谷) |
| 1/28 | 第 66 回勝田全国マラソン | ひたちなか |
| 3/ | 第 27 回楮川駅伝競走大会 | 楮川ダム(水戸) |
| 3/24～25 | 関東学連春季オープン陸上競技会 | 未定 |

V. 引退される先輩より

本図理彦 「陸上競技の歩み」

陸上競技の「道」を歩み、はや 12 年、年齢の半分の期間です。更にその半分を過ごした茨大陸部で、私が軸としている「ユーモアと気遣い」、敬愛する先輩からこの価値を学びました。ここまでの人生で最高の学びでした。少し手を伸ばせばバックグラウンドもブロックも学年も違う人間と、すぐに仲良くできるのは茨大陸部の誇るべきところです。この 6 年で部の「色」もだいぶ変わってきましたが、ずっと引き継がれて行って欲しいものです。Diversity を認めよう！ 院での 2 年間は、4 年次の引退試合のモヤモヤの正体について、ずっと考えていました。院では試合に出ることは叶いませんでしたが、結局は私の心の奥の負けず嫌いの性根だったなと結論づけました。競争における原動力として活躍した心は、消えることなくちゃんと残っていました。「～したかった、～できなかった。けど俺はまだやれる！」という意識は引退した今でも染み付いています。はっきりと自覚した今、この気持ちを仕事だけでなく、他の分野にも活かしたいと思います。しばらく陸上から離れたとしても、いずれまた必ず陸上の道を歩みたいのです。「純粹にただ走るだけの楽しさ、ライバルとの熱い競争の中での高揚感、怪我で自信を失った焦燥感、感受した全てが成長の糧となる。だからこそ、挑戦しがいがある！」こんなに良いことを教えてくれた陸上競技の道の歩みを止められるわけがありません。こういったことを含め多くの解釈を生み出したのは大学院で陸上を続けたおかげだと考えています。最後に、上地先生と渡邊先生、6 年間お世話になりました。この 6 年、どんな時も学生や部を真剣に想う御心に、上っ面ではなく真意の「優しさ」を感じ、多くを学ばせていただきました。大変感謝しております。最後の最後に、陸上競技を通じて知り合った数え切れないほど多くの皆さまに感謝の意を述べ結びと致します。この出会いは一生忘れません。ありがとうございました。

理工学研究科/電気電子工学/短距離

110mH・15 秒 33



安田萌

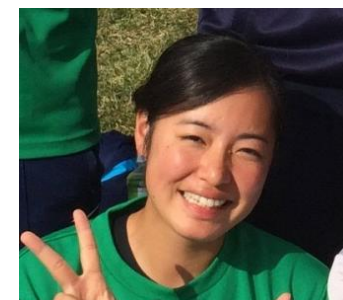
6 年間で過ごしたこの部から離れ、中学で始めた陸上競技も区切りとなる時がきたと思うと少し寂しい気持ちになります。いつの間にか、茨城大学陸上競技部は私にとってとても大きな存在になっていました。しかし、大学院での 2 年間は、あまり練習に参加することができず、大学院を修了された偉大な先輩方のように部に関わることができなかったように思います。

この 2 年間は、4 年次に叶わなかった関東インカレ出場を目標にしていますが、目標に見合う努力はできませんでした。ある時から記録が安定（停滞）しはじめ、対校戦で入賞できることに満足していた気がします。そんな中でも、練習に行けば声をかけてくれる後輩たちがいて、彼らの自分と向き合い一生懸命練習に取り組む姿に刺激を受けて 2 年間やってこれました。ひとまず大学での陸上競技は区切りとなりますが、これまでの経験を活かしてこれからも陸上競技と関わっていけたらと思います。

最後になりましたが、今までご指導してくださいました上地先生、渡邊先生をはじめ、OBOG の皆様、同期、後輩の皆さん、陸上競技を通して出会った方々に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。これからは、OG として茨城大学陸上競技部の活躍を期待しています。

教育学研究科/保健体育/投擲

やり投げ・42m96/円盤投・34m18/砲丸投・8m82/ハンマー投・23m37



渡邊綾乃

2年間はあっという間でした。なぜ私は今、こんなに死にそうになりながら、何のために走っているのだろう…と部活に行くたびに思っていました。上地先生はなぜ私を部活に入れたのか…ゼミだけでは物足りなかったのか…走るのしんどいわ…と思っていたこともありましたが、今ではそれもほんの一瞬のように感じます。なんだかんだ、ワーワー文句言いながら、後輩たちと走るのはとても楽しかったです。学校で合えば笑顔で挨拶してくれたり、部活に行けば話しかけてくれたり、すごく気を遣ってくれた後輩たち本当にありがとう！お陰様で、本当に楽しく部活動できました。



今思えば、きっと上地先生は、他大学から茨大に來た私のために、陸上部という居場所を与えてくれたのかなと思います。部活に入らなかつたら、後輩もできなかつたらうし、私のコミュニティは院生のみで、何も広がらなかつたと思います。こうして、陸上部のみんなに出会わせてくれたことに心から感謝します。

来年度からは、茨城県内の中学校で働くこととなります。きっとまた皆さんに会うこともあるだろうと思います。そのときは、また気軽に声をかけてください。とても喜びます。

最後になりますが、上地先生、渡邊先生、茨大陸上部のOB、OGの皆さん、そして現役部員の皆さん、大変お世話になりました。たくさん迷惑かけてすみません。本当にありがとうございました。

教育学研究科/保健体育/短距離

100m・14秒13

小澤晃太郎

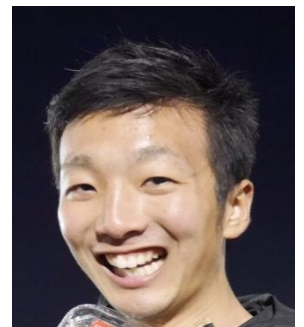
大学4年間を振り返ってみると、毎日のように陸上のことを考えたと感じます。楽しいことや嬉しいこと、辛いことや悔しいことなどたくさんの出来事があったが、とてもいい思い出ができ、よかつたと思います。もし自分が陸上部に入部せずに、普通の生活をしていたら、大変なことになっていたと思います。

また、様々な人に支えられ、ここまでやってくることが出来たと思います。ありがとうございました。

今後は、皆さんを影ながら応援していきたいと思います。Yahoo!のスポーツニュースのトップ記事に国立大〇〇と知っている名前を見れることを期待しています。

教育学部/保健体育/中長距離

800m・1分55秒70/1500m・4分10秒31/5000m・15分49秒14



荒井芽衣

陸上競技部として活動してきた4年間。思い出は良いことも悪いことも数え切れないほどあるのだと思いますが、それぞれにそれぞれの想いがあり、1番と言える思い出がぱっと浮かんでできません。仲間と練習を共にした日々はもちろん、大会で涙した日、笑いあった日、先生方からご指導を受けた日、たまに褒めてもらえた日、そして日常の何気ない会話や仲間・先輩・後輩とご飯を食べに行ったあの場所も。今思えば、辛いことは多かったけど、毎日自分なりに全力で駆け抜けて生きていたから、その日々、言葉、場所…全てが大切な思い出なのだと思います。



その中でも、部活を続けてきて良かったと強く思えたのは、私にとっての最後の対校戦である26大駅伝が「優勝」で終わったあの瞬間でした。目標としてきた舞台上、メンバーとして走らせていただき、チームは念願の優勝、個人でも区間賞…。まさに感無量、そしてこれを有終の美と呼ぶのか…と、まるで他人事のようにずっと考えていたあの日。何のために自分は走っているのか分からなくなることがたくさんあったけど、ここまでやってきてよかったなああの瞬間に思うことができました。

4年間を振り返ると、私の陸上人生は七転び八起きとか山あり谷ありという諺がぴったりと当てはまるものだったなと思います。大学に入って400、800、1500、3000、5000の全種目で自己ベストを更新することができましたが、一方で自己ワースト記録もいくつも叩き出しました。調子が良いと思ったら悪くなり、いつの間にかスッとまた良くなる、そんな繰り返しだったような気がします。でもそれは、初めの方は同じ失敗の繰り返しでしたが、学年が上がるにつれてそうではなくなりました。それが最後の駅伝にも繋がったのかなと思います(いや、駅伝前の1ヶ月で2度も捻挫をしましたが…)。走れなくて、自信を失うことも多々ありましたが、いつも26大駅伝優勝という目標はどんなに小さくても自分の中にはありました。辛い日々の中でも、それは変わらず叶えたいと思う夢であり、先輩方との約束でもありました。弱くても弱くても、その気持ちを持ち続けられたことが有終の美を飾ることのできた小さくて大きな要因なんじゃないかなと思います。もちろんそこには、私とその夢を見続けていられるための仲間や先生方、応援してくれている方々の存在がありました。今、そのひとりひとりにお礼を言いたいです。

みなさんが覚えているかは分かりませんが、私が4年の26大対校戦では5000で自己ワーストを記録しました。あの走りは自分ではものすごく忘れたいのに…忘れもしません。ただ、あの時私に上地先生がくださった言葉が私の心に火をつけ、ずっと支えてくれていました。9月末に行われた関東大学女子駅伝では、私は7人選手として走れる内の8番目の選手で補欠登録でしたが、そこから3か月とちょっとで、26大駅伝で走れる対校選手4人の内の1人とまでなりました。

人は、自分自身を信じて、自分の決めた道を最後まで諦めずに進んでいくことが大切なのかなと今感じています。先のことはもちろん分からないし、不安も多くて、自信なんてなかなか持てないと思います。でも、だからこそやるしかない。やってみないと最後までどうなるかなんて分かりません。そして、自分はひとりじゃないんです。周りを見渡せばすぐ手の届くところに必ず助けてくれる人はいるんだなと思います。苦しくて辛くて自分のことしか見えなくなってしまう時こそ、深呼吸して顔上げて、少し周りを見てみてほしいなと思います。後輩たちには、周りを頼りながら、未来の自分が笑えるように、自分が信じる道を進んで行ってほしいです。

最後になりましたが、今まで関わってきた全ての方々に感謝の気持ちを伝えます。本当に今までありがとうございました。

教育学部/養護教諭/中長距離

800m・2分26秒63/1500m・4分53秒08/3000m・10分35秒36/5000m・18分38秒00

菊池直人

大学での4年間を振り返ってみると、ほぼ陸上競技が大半を占めていたと思います。陸上のことを考えない日は1日もなかったです。入部当初は周りの人と大きな力の差を感じ、うまくやっけていけるか不安に思う日もありました。しかし、部活を続けるにつれて少しずつ走れるようになっていくことがとても楽しいと感じるようになり、気づけば4年間の活動が終わってしまいました。茨大陸上部での活動を通して、競技者としても、人間としても多くの気づき・学びがあったように感じます。これらを活かし、来年度からは社会人として精一杯頑張りたいと思います。最後に、上地先生、渡邊先生、先輩方、後輩の皆さん、同期のみんな、たくさんお世話になりました。これからも時間があればグラウンドにお邪魔させて頂こうと思います。本当にありがとうございました。



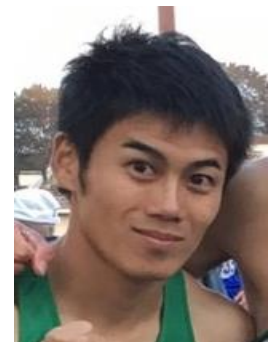
教育学部/保健体育/中長距離

800m・1分55秒88/1500m・4分02秒26/5000m・16分07秒48

木村大介 「4年間を振り返って」

勝田マラソンを終え、この文章を書いていると4年間があつという間に過ぎてしまったと改めて感じます。自分にとってのこの陸上競技部は陸上競技のことだけでなくたくさんのことを得ることのできる場所でした。

大学に入学していつの間にか陸上部にたどり着いていました。はじめは短距離ブロックに所属し、ハードルに専念するつもりでした。しかし高校で八種競技をやっていたと同期の堀尾に話したところ、十種競技と一緒にやろうと猛烈に誘われて跳躍ブロックに移り十種競技を始めていました。1年目は高校の時以上に色々な知識を吸収してどんどん記録を伸ばすことができました。陸上競技の楽しさにのめり込む1年間だったと思います。2年目は日立ブロックに移ってスタートしました。環境の変化でうまく記録を伸ばすことができませんでした。そして3年目は本当にひどいものでした。シーズンに入る直前にケガをしてしまいシーズンを通して良い記録を残すことができませんでした。また運営側の学年であるのにも関わらず試合のエントリー関連で部活にも迷惑かけてしまいました。さらには十種競技から逃げる理由を探して跳躍ブロックにも大きな迷惑をかけてしまいました。大きな挫折を味わう年でした。その中で迎えた4年目でしたが、前向きに陸上を楽しむことができました。泣いても笑っても最後なので笑って終わることを目標にして最後のシーズンをはじめました。そのおかげか試合に出るたびに記録を更新できました。前の年に決めてしまっていた限界を超えられたことが本当に嬉しかったです。結局のところ新入生歓迎会で掲げた目標は達成できませんでした。それでも前向きに最後を迎えられて良かったです。



この4年間はたくさんの人に支えられました。最初は誰も知らず場違いなところに来てしまったと思っていた自分が同期をはじめ先輩方や後輩たち、そして先生方と様々な人たちと関わることができました。そしていつの間にか茨城大学陸上競技部が自分の居場所になっていました。楽しい時だけでなくつらい時でも誰かがいて、支えになってくれたおかげで4年間続けることができました。4年間本当にありがとうございました。

工学部/機械工/跳躍

十種競技・5291点

渋谷弥生 「私の4年間」

陸上部の4年間で私はどれだけの人と話をしただろうか。先生・先輩・同期・後輩・他大学、たくさんの人と出会い、たくさんの人を陸上を見ました。どの人も皆かっこよく輝いていました。それぞれブロックも意義も違うはずなのに全員同じくかっこいいんです。そんな皆という空間はとても素敵でした。でも自分もそうなりたかった、かっこよくなりたかったなあ！



先生の言いなりになっておけば大丈夫だった高校までと違って、自分たちで陸上部を作ることの大切さを終わってから気づきました。運営の代になり周りの変化に気づけるように周りにばかり意識がいき、4年になって自分の競技について初めて自分だけに向き合い、その時々本当に必要なことに気づくのが遅かったと感じています。しかし両方を同時にできていなかったということを知れただけでも、十分次に活かせると思っています。

さて、これで私の陸上人生が終わりだとして、3年の春に自分でお店で悩んで買ったスパイクはもういらなくなったわけで、さあ処分できるかというのと、そうもいかないです。皆さんと練習し、レースに臨んだ、今までの陸上への情熱は忘れられないと思います。良いも悪いもいろんなことがありました。先輩方の部誌の内容にもありましたが、本当に陸上部での経験は私にとって大切な財産です。そして出会った仲間は宝物です。

最後になりますが、4年間支えてくださった、上地先生、渡邊先生、先輩方、同期、後輩の皆様、ありがとうございました。
人文学部/人文コミュニケーション/中長距離

800m・2分41秒48/1500m・5分32秒82

鈴木杏奈

気が付けば、もう卒業が目前に迫っています。あっという間の4年間でした。高校の時は部員も少なく、同期もいなかったのが、茨城大学陸上部に入部した時は全てが新鮮だったことを覚えています。高校から7年間、全てにおいて陸上が優先でした。カロリーを気にしながら自炊をしたり、体重管理に気を配ったり、毎日陸上ノートを書いたり、セパを着て腹筋を確認したり(笑) とにかく陸上に全精力をかけてきたので、引退して3か月が経った今も、何だか物足りない毎日を過ごしています。きついメニューと一緒にこなしたり、「乳酸やばいー!!」って叫んだり、たわいもない会話をしたり、学年問わずご飯に行ったり、ごく普通なことだったけど、今考えてみると本当に幸せでかけがえのない時間だったなあと思っています。大学から短距離を始めて、なかなか結果が出ず、自分は本当に短距離でやっていけるのかと悩み、1年の時は試合の度に泣いていました。その時、「泣くほどの努力をしたのか?」と先生に言われ、私の負けず嫌いのスイッチが入りました。しかし、2、3年は怪我に泣かされ、結果を出すことができませんでした。それでも、練習中にチームメイトが応援してくれたり、先輩方が連絡してくれたり、その人達の期待を裏切りたくないという無我夢中で陸上に打ち込んできました。インカレに出場するという目標には遠く及びませんでしたが、陸上をやってよかったと心から思っています。



茨大陸上競技部での4年間は、私をひとまわりもふたまわりも大きく成長させてくれました。競技に集中できない、先生に叱られるのが嫌だ、練習が辛い、と思っている人もたくさんいると思います。しかし、その経験は必ず自分を成長させてくれます。辛い、嫌だと思った時も何度もありましたが、仲間や先生方、家族がいつも支えてくれました。こんなに幸せなこと無いと思います。陸上を通して出会った方々には、感謝してもしきれません。

上手くまとまりませんが、今まで本当にお世話になりました!!!!

教育学部/保健体育/短距離

400m・58秒62/200m・26秒02

高野美幸

4年間を振り返ると本当にあっという間でした。高校生までは出されたメニューをやって終わりでしたが、大学に入ると体の動きを考えたり、メニューを自分で作ってみたり、新しいことばかりで悩んだ時期もありましたが、その時間があつたからこそ大学で自己ベストを出したり、大会で勝つことができたのかなと思います。辛くて苦しい練習も皆がいたから頑張れた、と思います。大会では、5000mは特に長くて応援も大変なのに皆が応援してくれて走りきれていました。何度も記録会に出てはいましたが、自己ベストを出すのは、いつも皆が応援してくれている大会の時でした。駅伝の時も遠くまで足を運んで応援に来てもらい、本当に感謝でいっぱいです。



競技面では、入学当初に5000mで関東インカレに出るという目標がありましたが、叶えることはできませんでした。さらには、障害をやり始めてからは、3000mSCで日本インカレにでる、という目標もありましたが、それも達成することができませんでした。

思い出すといろんな気持ちがありますが、4年間陸上と本気で向き合えて、たくさんの人と出会えて、本当に充実した時間を過ごすことができました。

最後になりましたが、上地先生、渡邊先生、先輩方、同期、後輩のみんな、本当にありがとうございました。

教育学部/健康/中長距離

1500m・4分47秒58/5000m・17分30秒71/3000mSC・11分24秒53

友常結衣

4年間という長い年月を過ごしてきた分だけたくさんの思いや気持ちがあり、大学生活の中で本当にたくさんの時間をこの陸上部に費やしてきたんだということを、今までを振り返ってみて改めて感じました。この4年間は私にとって陸上経験の中で1番辛かったし苦しかったと言っても過言ではないと、引退した今となっても思います。けれどそればかりではなく、楽しかったことやうれしかったことも思い出としてたくさん残っていて、そのことがここまで続けてくれた1番の理由であるなど本当に思います。また競技のことだけではなく、部活をしていく上で人間関係がどれほど大切であるかということも、私はこの陸上部でとても感じたことです。上も下も横も、どの繋がりをとっても私がこの陸上部を4年間続けてくれた多くの理由になるように思います。



4年間も過ごしていれば、無駄にしてしまった時間も有効活用できなかった時間も報われない時間も後悔してもしきれない時間もたくさんあるけれど、それでも大学生活のほとんどの時間を費やしてきて最後まで続けて今こうして終わりを迎えたことに今となっては良かったと思うことができます。それだけ自分にプラスとなるたくさんの人と陸上を通して関わることが私にとって1番よかったことではないかと感じています。

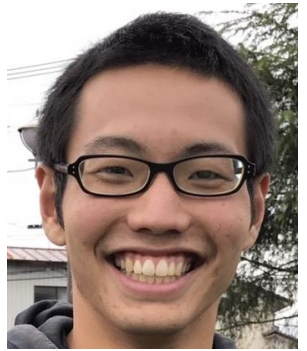
教育学部/健康/投擲

やり投・39m02

長谷川大輔

部誌を書くのも卒業もまだだだと思っていたらあっという間に来てしまいました。

26 大学駅伝後に部活に一区切りがついてこれまで生活のかなりの部分を陸上に費やしていたのだと感じています。頭の中には常に今日の練習のことがあって、練習が終われば今度は明日の練習のことを考えていました。練習内容はもちろん、何時から練習だから何時にはご飯食べておいた方がいいとか、食べ物のバランスとか、明日に備えて足のケアをして早く寝ないとだなあとか、気にしていたというより無意識に考えていました。練習時間自体は2時間~3時間ですがそれ以上かなりの時間と労力を陸上に使っていたと最近気づきました。陸上部は楽ではないですが楽しかったです。自分は大学4年間の時間を陸上に使って良かったと思っています。きついこともありましたが終わってみれば大したことなくあった気がします。



記録は満足ではないですが自己ベストも何度か更新できましたし、箱根予選会も走ることが出来て、良い思い出もさせてもらえました。なにより記録を出したときなどに一緒に喜んでくれる仲間が出来たことがうれしく、幸せなことだと思います。

最後になりましたが4年間ご指導くださった上地先生、渡邊先生をはじめ、これまでの陸上生活でかかわったすべてのの方々に感謝申し上げます。ありがとうございました。

理学部/地球環境/中長距離

1500m・4分20秒 85/5000m・16分25秒 59

平塚悠太

高校1年から始めた陸上を、もう本気で取り組むことがないと考えると少し悲しい気がします。今思うことと言えば、自分が描いていた理想や目標ってそんな簡単には達成できないってことです。思わぬ時に怪我してしまったり、思っていた以上に卒論が辛かったり、就活で精神やられたり…。後先って見据えることはできても経験できるのはそのときだけってことがよく分かりました。同時に、自分が辛いとき、先輩はこんなに大変なことをやりながら部活に来ていたのかと考えると、それだけでも先輩には敵わないと痛感しました。

僕は、入学時からの目標であった、「4年で関東インカレに出場する。」という目標が達成できず、その時から部活に対して気持ちを入れられませんでした。あれだけ走るのが好きだったのに目標を失ってしまいました。目標って本当に大事です。関東インカレに出場できなかったのは一生心残りです。もう出場できる機会はないですが、これを教訓として新たな目標は全て達成できるようにしたいです。陸上で失敗しても人生では失敗しないようにしたいです。最後に、ここで出会えた最高の仲間、先輩、後輩にはほんとに感謝しています。ありがとうございました。また、ご指導してくださった上地先生、渡邊先生、本当にありがとうございました。みんなに会えたことだけでも人生にとって大きな収穫です。ああ、卒論やべえ。

工学部/都市システム/中長距離

800m・2分02秒 01/1500m・4分05秒 27/5000m・15分47秒 59/3000mSC・9分58秒 03



藤井駿丞

4年間の陸上生活を振り返ると、非常に濃いものだったと感じています。

自分は「努力は嘘をつかない」の考えのもと日々の練習を積み重ね、目標の達成に向けてひたすらに頑張ってきました。その日々の中には楽しいことよりも辛いこと、苦しいことの方が多かったと思います。特にケガには何度も悩まされました。身体のケアに対する努力を怠った結果、完治してはまたケガをするという繰り返しをしてしまい、まさに「努力は嘘をつかない」ことを痛感した陸上生活でした。しかしながら、その生活の中で喜びを見出すことができたのも事実です。高校の時に出来なかった 5000m15 分台を出した瞬間や 4 年間をかけて箱根駅伝予選会のスタートランに立った瞬間等々。これらもまた「努力は嘘をつかない」ことを実感できた出来事でした。



苦しんだことも喜んだことも含め、陸上競技を通じてたくさんの感情と巡り合えたのは、自分の陸上生活を支えてくださった全ての方々が存在があってこそだと思います。引退するまでの数ヶ月や引退後の現在は、特にその思いが強まりました。ご指導してくださった上地先生、渡邊先生、一緒に練習してくださった先輩、同期、後輩の皆さん、長い間大変お世話になりました。ありがとうございました。今後の部の活躍を心より願っております。

人文学部/人文コミュニケーション/中長距離

5000m・15分40秒07/10000m・33分14秒83/フルマラソン・2時間54分13秒

堀尾 佳希 「私にとっての陸上競技とは」

私は中学1年で陸上競技を始め、大学4年まで続けてきたので10年間陸上競技をやってきたということになります。陸上競技を始めた頃の頃と今とでは、私にとっての陸上競技という存在が違うものになりました。競技のことは反省文集で書いたのですが、ここでは陸上競技から学んだことを書きます。

振り返ってみると、陸上競技部（以下、陸上部と記す）に入ったきっかけというのは中学に野球部がなかったからです。私は9歳から親の意向でリトルリーグに所属しており野球部がなかったので野球はシニアリーグで続けることに決め、部活動は足が速いという単純な理由で体育の先生に勧められ陸上部に決めました。棒高跳を本格的に始めたのは中学2年からです。これもまた、器械体操の授業で才能があると言われ始めました。2年の最初の大会で順調に結構な成績を残しました。しかし、3年になり全中標準の4mにあと10cm足らず友達1人が4m20を跳び大差で負けました。これが私の感じた初めての敗北として今でも心に強く残っています。これまで受動的だったスポーツというものが棒高跳によって能動的に変わった瞬間でした。高校に入り、野球部など脇目も振らず私が入ったのは陸上部でした。ここで初めて自分でやるスポーツを決めました。この時陸上部に入った理由を簡潔にまとめると「楽しいから、夢中になっていたから」です。この時の気持ちのまま記録も（幸か不幸か）順調に伸び続け、2年3年と満足のいく結果を全国のインターハイで残すことが出来ました。しかし、この時の私に足りないものが多くあったことを大学で陸上をやる中で気づいていくことになります。



大学でもやはり当たり前のように入りました。その理由を簡潔に表すと「まだ記録を伸ばす余地があると思っていたから」です。しかし、1年目に思う結果が残せずいきなり心が折れました。シーズンオフになり練習に寝坊もしましたし、身が入らなかった時期がありました。この時によく気付きます。「俺は記録が伸びて人よりも高く跳べるから陸上が好きただけであって、記録が出ずにつまらなくなったらやる気がなくなる。そんな遊びと一緒にじゃないか。」と。こうして自分のことに気づくと同時にもう二つ私には改めるべきことがありました。それは「コミュニケーションのとりかた」と「チームワーク」です。

私は上記のように陸上楽しいからやっているというだけの人間だったので「コミュニケーション」というものもただの練

習を楽しむだけのツールでした。陸上は記録が伸びればいいだけの個人競技だと思っていたのでチームワークという概念も皆無でした。しかし、コミュニケーションは自分の能力や記録を向上させるツールともなりえるのです。例えば、自分の知らない知識や経験などをチームメイトや先生に聞くことで練習や動きを改善させることにつなげることもできます。自分の知っているもの・感じたことを人に伝えることで自分の考え・知識・経験を再確認することもできます。「コミュニケーションのとりかた」をこのように改める必要がありました。

次に、「チームワーク」の話をしていきます。それまでの私は記録が出るも出ないも自己責任、みんなに合わせて練習をする必要性は必ずしもないと感じていました。しかし、茨城大学陸上競技部に所属している以上、大会はもちろん日常生活まで自分の成功も失敗も茨城大学陸上競技部として見られます。これが組織というものなのです。そういったことを考えると、自分勝手なことはできません。正直窮屈です。笑 しかし、これを好転して捉えることもできます。それは、自分がチームの一角を担っていると強く自覚することです。チーム＝自分という風に見られる以上、チームが悪い状況であったり、成績が低迷しているのは当然いやだと感じると思います。そうすると自然とチームを良くしよう・チームワークを固めようと思います。それでいいのだと思います。こうした気持ちが先ほど記した「コミュニケーション」にもつながりますし、自分の能力の向上にもつながると思います。なぜこのようなことを考え始めたかといいますと、このころ丁度サッカーの日本代表本田選手の「個々の力をつけなければいけない」といった内容の発言が世論をにぎわせていました。それまで日本のスポーツはチームワーク・連携重視という風潮がありました。そのような中でのあの発言だったので異論を唱えている人も多くいました。しかし、私は本田選手の言葉を受け「チームとしての力を上げることで、個人の能力を上げることもつながるのではないか」と考えました。こう考えるようになってからは3年間それを貫いてきたつもりでいますし、伝えるべき人には伝えてきました。

長くなりましたが、私がみんなに考えてほしいのは「みんなにとっての陸上競技とはどういうものか、陸上競技から学んだものは何か」ということです。今、私にとっての陸上競技とは楽しいものであると同時にこれをやることでしか学べないものも多くあるものだと思っています。陸上競技をチームでやるのは普通は大学で終わりです。それまでに意識しないと変わらないものがあると学んでください。

工学部/都市システム/跳躍

棒高跳・4m50/十種競技・5456点

宮本秀斗

大学四年間を振り返ってみると、すべてを陸上競技につなげて、陸上のことしか考えていませんでした。私は「全国の決勝で自分の最高の走りをする」ということを新歓で言いましたが、全く達成できませんでした。大学二年から最後の最後まで怪我に悩まされ続け、最高の走りすらできませんでした。しかし、それに向き合い続け、真剣に取り組んだことは本当に私の財産です。四継のインカレ出場に向け、取り組めたことは、走れなかった悔しさ以上に最高の記憶です。真剣に取り組んだからこそ、先輩方や後輩たち、同期と陸上が好きなんだと思います。もっと一緒に陸上やれたらいいのと思います。

最後になりましたが、上地先生、渡邊先生、本当にありがとうございました。先生方の期待にもっと応えたかったです。その分、この部で学んだことを自分の芯にしていきます。

教育学部/保健体育/短距離

100m・10秒 95/200m・22秒 22/400m・48秒 48



宮本蘭子

卒業式を来月末に控えて、何かとこの4年間を振り返る機会が多くなっているように感じております。もともとは、大学で陸上を続けるつもりはなかったのですが、陸上部に入っていなかったら関わることもなかったであろう人との出会いや、陸上部に入っていたからこそ経験できたことを思い返すと、「陸上、続けてよかったなあ」としみじみと感じます。

大学での陸上競技は、ラストシーズンを迎えた4年が一番気合を入れて取り組むことができました。それまでの3年間と、4年生になってからを比べると、達成したい目標とやるべきことが自分の中で明確になったことが大きく変わった点だと思います。さらに、周りには一緒に頑張れる仲間がいることも、本当に恵まれている環境だと気づくことができました。2、3年生の時に気付いていれば、何か少し変わっていたかもしれないと思ったりもしますが、すべて含めてとても充実した4年間でした。皆さん本当にありがとうございます。

・・・・・・と、ここまで、あたかも最後の言葉を綴るような形になってしまいましたが、わたくし宮本、4月には大学院生として茨城大学に入学させていただきますので、これからも仲良くしていただけると嬉しいです。

教育学部/保健体育/跳躍

走高跳・1m50/三段跳・10m57



安井智哉

この四年間を振り返ると、日々いろいろな感情に動かされていたなと思います。やるべきだけどやりたくない練習、必要ないけどやりたい練習があったときに楽しいほうをやってしまいがちだったし、ケガをしているときは練習すらしたくないときがありました。自分はそのときに個人ではなく、部で陸上をできているありがたさを感じました。個人だと練習の効率や自由度は上がると思います。しかし上手く行かなくなったとき苦しくなったときに周りに仲間や先生が居てくれて気持ちの面で救われたし、軌道修正がしやすかったと思います。後輩たちにはいま周りに人がいることを大切にしてお過ごしって欲しいです。最後になりましたが、厳しいことも言って下さったり調子はどうだと声をかけて下さった、上地先生、渡邊先生、いつも元気をもらっていた同期、先輩、後輩、本当に四年間お世話になりました。かけがえのない時間でした。ありがとうございました。



理学部/物理/短距離

100m・11秒06/200m・22秒51/400m・53秒53

柳町直

今、陸上部を引退して本当に寂しいと感じています。普段みんなと励まし合い競い合って、練習をしていたのが懐かしく思います。

四年間陸上部での活動を通して本当に仲間の存在に支えられました。本当に自分勝手な考え方が多かったが、辛くて辞めたいとともった時が何度もありました。そんなときも一緒に苦しい練習をするなかで、励まし合ったりアドバイスしあったりして何度も救ってくれた仲間がいたことが自分にとって財産だったと感じています。だからこそ続けてくることができたと思っていますし、何度も頑張ろうと思うことができました。本当に感謝しています。陸上を続けてきてよかったです。



競技面では5000mの高校のときのベスト記録を塗り替えることができずに悔しいです。しかし、3000mでは四年の春に自己ベスト記録を出すことができ、冬季練習をラストシーズンに向けて同期のみんなと支え合って取り組んできたことの結果が出たことがとても嬉しかったです。

最後になりましたが、四年間ご指導してくださった上地先生、渡邊先生、支えてくれた同期のみんな、憧れの先輩、慕ってくれた後輩、周りの方々に恵まれた四年間でした。本当にお世話になりました。ありがとうございました。

教育学部/保健体育/中長距離

1500m・4分24秒32/3000m・9分20秒53/5000m・16分20秒53

山本智晴

本当にこの4年間は良い意味でも悪い意味でも自分の事より他の人のことを念頭に置いて陸上生活に取り組んでいた。そのせいか、「自分の事も頑張れ！」と先生や先輩方に言われてきた。だが、自分の選択が間違っていたとは思わない。この7人のメンバーと共に取り組んでいくことができ本当に良かった。



内田拓人・・・結局やめちゃったけど、最後に自分の力を伸ばし意地の走りで目標記録を突破した。退部後多少難ありな時期もあったが、腐ることなく自分の人生と向き合っている。

小澤晃太郎・・・晃太郎はなんだかんだ言ったって自分にストイック。普段はそんな態度は見せずふざけている感じだけど、本当に自分に厳しく練習に取り組んでいたと思う。長い距離でもいけるそのオールマイティさが晃太郎の強みだ。また、自分たちの代で1番後輩思いの良い先輩だった。いつも楽しく後輩たちと接しているところ、少しうらやましかったな。

菊池直人・・・直人は変わろうとする意識がとても強い。正直引っ張っていくタイプの間人ではないと思うのだが、自ら主将に立候補した。その1年は山あり谷ありだったが、見事責務を果たした。その大きな経験の賜物なのか、その後の競技では好記録を連発。普段の練習の内容や練習に対する気持ちを変えていこうとし実行できたからこそのこの結果だと思う。

長谷川大輔・・・大輔には申し訳なさしかない。箱根予選会出場まであと1人という重圧を持ち本当に苦しかったと思う。想像できないほどのプレッシャーだったであろう。それなのに2年間もタイムを切らせてやるができなかった。毎年のタイムを狙うラストチャンス、申し訳なさそうに陣地に帰ってくる大輔の姿。それを見てこっちが申し訳なく、本当に自分の力の無さを悔やんだ。だが、最後の年に4年全員で箱根予選会を走ることができ本当に良かった。

平塚悠太・・・平塚はいつもふざけている。だけど、陸上に関してとてもよく考え、それを自分自身の中で深めていて、陸上に対して本当に真摯に向き合っていた。他人の長所を純粹に「すごい！」と思いそれ認めていて、その姿勢は本当に見習うべきものである。また、選手に関する知識をとっても持っていて、平塚と陸上の話をしている時は有意義で学ぶことが多く、とても実りあるものだった。

藤井駿丞・・・駿丞にはきついことを最も言ってきたと思う。最初は意思が弱く、良くない考えを持っていることが多かった。それらについて様々な指導をしてきた。きつく言いすぎたなと反省するところがあるが、そんな中とても成長してくれたと感じる。本当に今の駿丞は強い気持ちを持つ男になった。4年間を通して駿丞は最も良い方向に変わった選手だと思う。

柳町直・・・直にはとても感謝をしている。自分がブロック長の時いつも陰でサポートしてくれていて、紛れもなく影の功労者である。直がいなかったら絶対にうまく運営できていなかっただろう。自分自身の記録が伸び悩み高校時代とのギャップに苦しんでいただろうが、それでもめげずに最後までやり遂げたことは本当にすごいと思う。

本当にとても良い仲間巡りに巡り合えた。この4年間本当にありがとう。これからもよろしくお願いします。

理学部/数学/中長距離 1500m・4分10秒45/5000m・15分45秒30/3000mSC・9分53秒41

VI. OB/OG 近況報告・現役部員へのメッセージ

伊藤太一

みなさんこんにちは。2016年に大学院を修了した伊藤です。現在でも、茨城大学のグラウンドをお借りして競技を続けさせて頂いており、この場をお借りしてお礼をさせていただきます。ありがとうございます。

気付けば早いもので、1年が過ぎようとしています。後輩達がいつの間にか先輩となり、真剣に競技に取り組んでいる姿を間近で見ることができ、とても嬉しく思っています。私は現在、市役所に勤務しており、高齢者を対象とした健康体操教室に携わる傍ら、楽しく競技を続けています。今年は100mで4年振りの自己ベスト。そして、追い風参考ながら10秒4台でも走ることができました。学生の頃よりも練習の頻度や量は明らかに減っている中で、この結果はちょっとだけ悲しくも感じています。

社会人になり、「今みなさんがいる環境をとても羨ましい!!」本当にそう思います。指導してくれる監督がいる、一緒に練習したり、競い合ったり、励まし合える仲間がいる、そして練習が出来る環境、時間がある。それは当たり前では無く、とても有難いことです。是非、その仲間、環境、時間を大切にして競技に励んでください。

みなさんのこれからの活躍、そして悔いのない陸上生活を送れることを心から願っています。くれぐれも怪我には気をつけて全力で楽しんでください。

教育学研究科/保健体育/短距離

100m・10秒56 / 200m・21秒14



川部優太

お久しぶりです。時が経つのは早いもので、茨城大学大学院を卒業してから、1年が経とうとしています。ありきたりな言葉で表すと、あっという間という印象です。皆さんお元気でしょうか。

現在私は、某建設会社でダム現場の現場監督をしております。新潟に転勤しており、茨城では考えられない雪の量と新入社員とは思えない仕事量に驚きを隠しきれません。しかしながら、夢であった仕事に就き、充実感のある毎日を過ごしています。

さて、陸上の話は、偉大なOB・OGの方々がしてくれると思うので、私からは社会人1年目として一言。結論から申しますと、社会で生きていく上で頭が良い必要はないということです。確かに、医者や研究者になりたいのであれば飛びぬけた頭脳が必要かと思います。しかし、それはほんの一握りです。特別でない私のような人間が生きていくには、工夫が必要です。例えば、説明するときに言葉だけではなく、手書きでも図を描いて説明する。こんな些細なことで、伝えたいことが正確に伝わるようになります。勉強ができる頭ではなく、知恵のある頭にしてほしいなと思います。頭が良いだけの人は要領のいい人に社会では勝てないので・・・

いつも同じブロックの人とばかりいるなど言われませんでしたか？その意味を理解してください。幸いにも茨城大学陸上部はそういった機会を投げかけてくれる方々がたくさんいます。

最後になりますが、茨城大学陸上部の増々の発展と、皆さんの人としての成長に期待して、OBからの一言とさせていただきます。頑張ってください。

理工学研究科/都市システム/短距離

400mH・54秒24



柴俊博

皆さんお久しぶりです。2015年度に大学院を修了しました柴です。今は中学校に勤めており、子どもたちと実験をしたり、サッカーをしたり、忙しくも楽しく過ごしています。大学院時代に増やした体重もいつの間にかなくなり、そろそろ短距離の頃の体重に戻りそうです。

皆さんへのメッセージですが、色々な人とのコミュニケーションを大切にということです。今、自分が仕事をしていて思うことは人の考え方や価値観は本当に様々だなということです。特に自分にはない価値観に触れることで、自分の考えの狭さに気づかされることは多いです。今になって、陸上部にいた6年間で5年分の先輩や後輩、そして同級生に出会い、色々な価値観に触れたことが自分の糧になっているなど感じるとともに、もっと色々な人とコミュニケーションをとっておきたかったと思います。部内に限らず色々な人と触れ合ってみたら何か良い発見があるのではないのでしょうか。

月並みなことしか言えませんが、皆さんの大学生活が皆さんにとって良いものになるよう頑張ってください。なかなか顔を出せませんが応援しています。

教育学研究科/理科/投擲

円盤投・31m17/砲丸投・8m72



沖崎一也

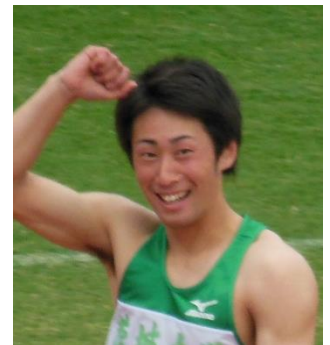
皆さん、こんにちは！4月から社会人になり、急に大きく変わった環境に、今でもまだ慣れず、おどおどしている毎日です。今現在、私は高速道路の標識を設置する現場監督の仕事をしています。高速道路の工事は常に危険と隣り合わせな上、標識にも様々な種類があったり、標識に関連する材料だったりなど、非常に奥が深いです。那須に出張に行ったり、回らない寿司屋に連れて行ってもらったり、意外と楽しいことも経験しました。

ですが、卒業して一年が経とうとしている今、思うことは「もっと遊びたい！」です。社会人にしては自由な時間も多く、遊んでいる方だとは思いますが、やはり仕事よりも自分の自由な時間が欲しいという気持ちが強いです。土日のために仕事をしているような生活です。仕事なんてそんなものです。

なので皆さん、卒業していった先輩方がよく言うことだと思のですが、今の大学時代をもっと堪能して下さい。思うように練習して、たくさん遊ぶことは大切だと思います！やはり学生に戻りたい気持ちは変わらないので、来年も私は陸上を続けていきたいです。幅跳びで自己ベストを来年の目標としているので、皆さんも一緒に頑張りましょう！

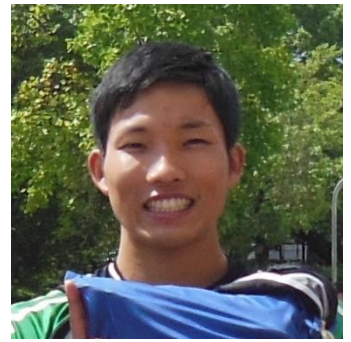
工学部/都市システム/跳躍

走幅跳・7m03/三段跳・14m64/棒高跳・4m40/100m・10秒80



伊藤林太郎

H26 年度卒業生の伊藤林太郎です。現在ですが、山形県米沢市の小学校で 5 年生の担任をしています。「社会人になっても走るんだ！明日こそ走るぞ！」と言いながら、あっという間に 10 か月がたってしまいました。今では、新しいスポーツ（自分の中では）「クロスカントリースキー」に出会い、子どもたちと一緒に練習をしているところです（笑）さて、茨城大学を卒業してから早 1 年になろうとしています。そして今、こうしてパソコンに向かいながら何を書こうか悩んで、書いては消し、書いては消しを繰り返しているのですが、いくら考えても、皆さんのためになるような話が浮かんできません。ごめんなさい。そこで、



（みなさんの競技生活につながる場所がないかもしれませんが…）教員生活が始まっておよそ 4 か月目、自分では「強い！」と思っていた心がぽきっと折れそうになったとき、教務の先生から言われた一言を皆さんにも紹介させてください。今でも自分の心の大きな支えになっている言葉です。7 月、まだまだ何も見えない自分に、子どもたちに伝えられることは何なのか、見せるべき背中はあるのか、日々悶々としていたのを覚えています。隣のクラスの授業を見ては、自分の授業のみじめさに心が苦しくなる時もありました。そんな時、教務の先生から「授業のうまさ、そんなところでベテランの先生にかなうはずがない！君にしかできないことで勝負しなさい！」と声をかけていただきました。「自分にしかできないことで勝負する…自分にしかできないことって何だろう」考え悩みましたが、今では「どの先生よりも長い時間子どもと一緒にいよう！」と心に誓って、生活しています。人と比べて「できない」とマイナスに考えるのではなく、「自分にしかない強みは何だろう！それを生かそう！」とプラスに発想できたことが自分の中でとても大きなことでした。子どもたちとこんなことがしたい！こんなこともしたい！と夢ばかり膨らんで、実行できない自分にいら立つこともありますし、失敗もたくさんしました。でも、そのたびに周りの先生に助けをいただき、子どもに助けられ、今では自分に自信をもって、子どもたちと楽しい日々を送っています。つい、自分のできないことに気を取られがちになりますが、「自分のいいところや強み」に目を向けてプラスに考えることが大切なのだとして 1 年かけて気づくことができました。

茨城に行ったときには、またたくさん話をしたり遊んだりしてください！ちなみに、結果報告掲示板をチェックするのが、小さな楽しみになっています！米沢から、皆さんの活躍を祈っています。

教育学部/保健体育/短距離

100m・10 秒 85/200m・21 秒 83

奥山康太

皆様、ご無沙汰しております！昨年度卒業いたしました、奥山康太と申します。私は現在、山形県内の金融機関に勤めています。地学系の学部から金融業という畑違いの分野に進みましたが、なんとか生きています。そして丁度去年の今頃から始めたジム活もそろそろ一周年ですが、今も週 2 日くらいは時間を見つけて通うようにしています。



さて、今年一年間は皆様の活躍をホームページから見させていただきました。活躍を見るたび、自分も頑張らなきゃなと思いました。今は部活をしていく中で楽しいことばかりではなく、辛いこともあるかと思いますが、悩んで泣いて乗り越えていってください。「楽なことばかりのところにはチャンスはない。難しく嫌なところこそチャンスはある。」これは私がお世話になった方からの言葉で、これまで楽ばかりしてきた私自身も今年一年実感したところがあります。そんな私ですが、つい先日一つ大きな決断をしました。皆様が陸上を頑張っているように、私も頑張っていきたいと思います。

茨城大学陸上部のファンとして、まだまだ皆様のこと応援しております！！

理学部/地球環境/中長距離

100m・11 秒 97/400m・51 秒 74/800m・1 分 58 秒 14

加藤祐実

皆さんとは卒業してからも、Kスタや大会で時々お会いします。現在は水戸市内の中学校で教員をし、幸せなことに陸上部の顧問をさせてもらっています。競技場で茨大の円陣を見ると、円の大きさに驚き、自分も1年前まではあの中に入ったのか…としみじみ考えます。

大学生の時は、部活が生活の中心にあり、楽しさを感じながらも、普通の大学生（バイトをして、遊ぶような生活…）にずっと憧れていました。しかしながら、今社会人になり思うことは、部活にあけくれた4年間は自分の誇りであり、貴重な時間であったということです。部活で毎日顔を合わせていた同期とは、時間を見つけては集まり、各々の近況や社会人としての愚痴を話します。今の生活はそれぞれ全く異なるのに、4年間という時間を共有したことで、今もこれから先もこういった関係が続くのだと思います。私が憧れていたような大学生生活は、社会人になり時間さえ見

つければいつでもできる生活です。これは社会人になって気づきました。ひたすら陸上のことだけを考え、きつい練習を一緒にこなし、時には意見の食い違いでぶつかるような生活は、大学生の時にしかできないことだと思います。大学4年間の経験が社会人になったときの自分の糧になることは間違いないので、ぜひ、いろいろな経験をして、充実した大学生生活を送って欲しいなと思います。応援しています。

教育学部/健康/短距離

100m・12秒32/200m・25秒46



近藤颯二

陸上競技部の皆さん、御久しぶりです。昨年度卒業したこんじこと近藤颯二です。現在は大学院の修士をしており、研究と就職活動に追われる毎日を送っております。時折、練習にも顔を出した際には、皆さん温かく迎えて頂きありがとうございます。競技者として引退してから早1年、みるみる萎んでいく身体はアスリートであったことを少しずつ忘れていますが、陸上部で得た教訓や感じたことは今も変わらずしっかり心に残っています。

さて、皆さんは大学に入ってから家族とどのように過ごしていますか？私は今年のお正月は大学生になってから初めて1週間以上の長期帰省しました。私の家族構成は私を末に上に

二人の兄弟と父母と一匹の猫がおります。高校、大学と部活や勉学に集中していたあまり、家族に関することは少々おろそかにしており、今年のお正月は久しぶりにじっくり家族と過ごすことで改めて感じたことが多くありました。皆さんの今の環境は多くの仲間にもまれて毎日充実し楽しく過ごしていることと思われれます。もちろん大学はそうである場所であり私自身そのように今も大学生を謳歌しています。しかし、その今があるのは家族の支えがあったからだだと思います。下宿している人も実家から通う人も差はあれど、競技者として努力するあまり家族との時間やコミュニケーションが減っていると思います。もし思うところがあったら是非、家族との時間をとってください。今まで気づかなかったことに気付くことや自分の原点を再確認することで、皆さんの競技力向上、並びに人としての成長に繋がることになればと思います。

偉そうなこと書いちゃいましたが、私もまだまだ茨大生なので練習にも顔を出しに行かせてもらおうと思います。一応OBなのでお手柔らかにお願いします。

茨城大学陸上競技部のますますの御活躍を心より応援しております。

工学部/マテリアル工/投擲

やり投・60m81/円盤投・32m42



猿田康陽

こんにちは。昨年度卒業しました猿田です。卒業してもうすぐ1年が経つなんて時の流れは早いですね。

私は現在、宮城県の東北大学大学院に通っており、熱物性の研究をしています。大学から大きく環境が変わり、まだまだ分からないことばかりで周りについていくのがやっとな生活を送っています。また、陸上部にも入部しました。学部生のころと比べて練習時間が減ってはしまいましたが、茨城県選や茨城大の対校戦でも皆さんの前で走ることができ、応援やご声援をいただけたことに感謝しています。



さて、私が新しい環境で感じていることは、陸上も研究も一人では結果を出すことは難しいということです（もちろん一人でも結果を出せるすごい人もいます）。様々な人から助言をいただき、多様な考え方、知識と出会うことで、いい結果に結びつく可能性が上がるのではないのでしょうか。また、それと同時に茨城大学陸上部ではたくさんの人に支えられていたなとしみじみ思います。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

それでは、皆さんのご活躍を心から祈っております。私も茨城が恋しい毎日ではありますが、また茨城で走れるように研究と部活の両立を目指して精進していきます。

工学部/マテリアル工/短距離

100m・10秒89/200m・22秒24

杉浦ちはる

皆さん、お久しぶりです。お元気ですか。一年はあっという間で、ついこの間卒業したと思ったら、もう今の4年生が卒業です。4年生の皆さんは勝マラお疲れ様です。私は今年度就職活動をもう一度していました。行きたいところには行けなかったのですが、思い切って受けてよかったと思っています。

何を書こうか悩んだのですが、皆さんは今大学生活や部活を振り返ってどう感じていますか。今の自分を5年後10年後に振り返って良い思い出にできるのは今の自分しかないと思います。ぜひ、何かに打ち込むならば思いっきり、何かを決断するなら世間や周りの人の目を気にしたり、悩んだりすると動けなくなってしまうので、少しでも自分が心躍る方へ思い切って動いてみてください。考えてから動くよりも、動いてから考えた方がいいと思います。4年間はあっという間に過ぎ去ってしまいますから。私も何年後かにもし皆さんにお会いすることがあれば、堂々と胸を張って懐かしい話が出来るようにしていきたいです。



それでは、みなさんそれぞれの活躍を遠くから応援しています。東京周辺の大会はこっそり覗きに行きますね。

教育学部/健康/短距離

400m・65秒37

永瀬 麻梨凜

ご無沙汰しております。昨年度卒業いたしまして、現在は筑波大学で勉強させていただいております。大学4年間とはまた違った環境で、賢くて面白い人たちに揉まれながら勉強・実験の日々です。

卒業し、今になって感じることは、大学在学中にもっと真剣に「考える」ことができれば良かったなということです。この部活動に所属していると、「考える」と言われる場面がよくあるかと思えます。当時は「自分なりに考えている」と思うことばかりでしたが、「考える」にはいろんな意味が含まれており、それらが非常に大切なことだったと今



になって感じます。常にあらゆることを考え、いろいろな道を想定できる人は、本当に強いと思います。競技のこと、人間関係、将来のこと…悩むこと・考えることは多くあり、押しつぶされそうになることもあるかと思えますが、ひとりでじっくり考えてみたり、時には周りと議論しながらもじっくり考えたりしてみてください。(考えるのをやめない、って案外大事なものです。)

最後になりますが、皆さんお身体には十分お気をつけてください。今後益々のご活躍を心よりお祈り申し上げます。

教育学部/健康/跳躍

走高跳・1m55/三段跳・10m73

平沼清一

ご無沙汰しております。私は大学院に進学し、この一年、誰よりも大学のグラウンドが見やすい席に座っていました。みなさんの練習を見てがんばれーと思っでは集中を欠きつつ、周りの方に助けられてなんとかやっております。

突然ですが、以前OBの栗原さんから「常に新しい技術が出てくるけど、教科書は何年ごとに新しくなるの？古い知識でいいの？」と言われて、はっとした覚えがあります。新しい知識は、どんどんどんどん積もっていきます。それをぜーんぶ覚えようとしたらパンクしてしまうでしょう。変化に対応するというのは、捨てる勇気を持つことなのではないかと考えました。思えば空の状態、新入生やスタッフを終えた時など、1番フラットな時期が1番記録が伸びるように思います。行き詰まったときこそ深呼吸して心を整えることが必要かもしれません。無心で何かに懸けられることはありがたいことです。



調子の良い人は怪我に気をつけて、悩んでいる人ほど頑張って欲しいです。

教育学部/技術/短距離

100m・11秒36/200m・23秒17

福田智仁

陸上競技からは完全に離れた生活を送っている福田です。卒業後も茨城で生活しているので、たまにみなさんの大会結果などの頑張っている噂等を聞いています。みなさん大学生活は短いので悔いのないように頑張ってください。

最後になりましたが、茨城大学陸上競技部の活躍を祈っています。怪我のないように頑張ってください。

人文学部/人文コミュニケーション/短距離

100m・11秒30/200m・22秒18/400m・50秒25



村山靖真

皆さん、こんにちは。昨年、卒業しました村山です。たまに練習に混ぜてもらったり、大会を見に行ったりしているのであまり久しぶりではないかもしれませんが。

私は今、地元の役所で防災関係の仕事をしています。何をしているのかと聞かれると上手く説明できないのですが、台風や地震があれば昼夜休日関係なく出勤するような部署です。(最近地震が起きると、体感で震度がどのくらいかわかるようになってきました。)

社会人になって思うことは、大学生の時、毎日当たり前のように練習していた状況は普通ではなかったということです。私は現在、地元のクラブチームで陸上競技を続けていますが、一時期、仕事でまったく練習できない日々が続きました。その時期に思ったことは、自分の時間を自由に好きなように使っていた大学生活が懐かしいということでした。今はおそらく実感がないと思いますが、自分の好きなことに多くの時間を使えるのは大学生だからこそです。大学生の皆さんには、自分のやりたいことを満足するまでやってみてほしいと思います。

個人的なことですが、2017年も陸上競技を続けようと思うのでたまに練習に混ぜてもらえると幸いです。皆さんのこれからの活躍を祈っています。

人文学部/社会科/短距離

110mH・15秒 21/400mH・63秒 29/100m・11秒 88



山内裕香

皆様お久しぶりです。昨年は練習にも試合にもよく顔を出させて頂きました。その節は暖かく迎え入れていただき有難うございました。

私は今、埼玉県にある陸上競技部のある建築関係の会社で事務作業をしながら、棒高跳を続けています。

建築関係という今までの人生からは想像もつかない、未知の世界で毎日分からないことばかりですが、与えられた業務に対して「手段」と「目的」を明確にすることを大事にしています。単なる作業だとしても、それをする「目的」が仕事には存在します。例えば、清掃時「この場所をキレイにする」という意識で行うと、キレイにして終わりになります。そこで「なぜこの場所をキレイにする必要があるのか」を考えることで、目的は「この場所をキレイにすること」ではなく「社員やお客様が気持ち良く快適に過ごす環境を整えること」になり、清掃はその目的を達成するために必要な「手段」となります。そこを把握すると自然と全体まで目が届き、これを理解しているかどうかで、進める仕事の精度や要領が全く異なります。

皆さんも部活動や、部活動以外でも是非「手段」と「目的」を明確にしてみてください。1度しかない大学生活を部活動に費やしているので、今ある時間をより有意義なものにして、最高な時間を過ごして下さい。(大学生本当に楽しかったです)今年も皆様の活躍を心より楽しみにしています！

教育/スポーツ/跳躍

棒高跳 3m52/走幅跳・4m80



Ⅶ. 記録集

茨大記録 【男子】

| 種目 | 氏名 | 記録 | 期日 | 大会名 | 会場 |
|----------|-------------------|-------------|--------------|-----------|--------|
| 100m | 杉崎 弘周 | 10.51(+1.9) | 1998/9/11 | 日本インカレ | 国立競技場 |
| 200m | 伊藤 太一 | 21.14(0.0) | 2011/9/11 | 日本インカレ | KKWING |
| 400m | 今村 明彦 | 48.06 | 1994/9/9 | 日本インカレ | 国立競技場 |
| 800m | 今井 英明 | 1.53.9 | 1990/4/7 | 学連競技会 | 筑波 |
| 1500m | 秋山 陽祐 | 3.56.42 | 2007/9/15 | 関東新人 | 国立競技場 |
| 3000m | 小野 隼太 | 8.38.17 | 2016/4/2 | 世田谷記録会 | 世田谷 |
| 5000m | 小野 隼太 | 14.48.63 | 2015/11/29 | 平国大記録会 | 鴻巣 |
| 10000m | 秋山 陽祐 | 30.35.03 | 2007/12/22 | 松戸記録会 | 松戸 |
| 110mH | 星 耕平 | 14.88(+1.8) | 2014/10/25 | 国公立 24 大学 | 宇都宮 |
| 400mH | 神尾 伸也 | 52.53 | 1994/8/23 | 関東選手権 | 笠松 |
| 3000mSC | 岡崎 浩樹 | 9.07.37 | 2008/8/24 | 関東選手権 | 笠松 |
| 5000mW | 小向 瑞樹 | 24.40.48 | 2009/8/24 | 国公立 22 大学 | 千葉県総合 |
| 10000mW | 小向 瑞樹 | 49.38.28 | 2010/5/16 | 関東インカレ | 国立競技場 |
| 4×100mR | 伊藤(林)・伊藤(太)・李家・沖崎 | 40.49 | 2015/8/8 | 順大記録会 | 順天堂大学 |
| 4×200mR | 浅井・佐藤・大久保・神尾 | 1.27.38 | 1995/5/28 | リレー選手権 | 笠松 |
| 4×400mR | 開・上杉・山本・和田 | 3.14.60 | 2008/5/25 | 関東インカレ | 国立競技場 |
| 4×800mR | 中村・飯塚・林・神尾 | 7.54.72 | 1994/5/29 | リレー選手権 | 笠松 |
| 4×1500mR | 滝沢・根本・千葉・金沢 | 16.38.08 | 1981/4/18 | リレー選手権 | 笠松 |
| スウェーデン R | 浅井・成石・大久保・岡 | 1.57.44 | 1996/5/26 | リレー選手権 | 笠松 |
| 走高跳 | 青木 博光 | 2m00 | 1985/9/8 | 関東選手権 | 小瀬 |
| 棒高跳 | 岡山 進也 | 4m90 | 2001/5/26 | リレー選手権 | 笠松 |
| 走幅跳 | 佐藤 良雄 | 7m09 | 1958/7/19 | 茨城県選手権 | 土浦 |
| 三段跳 | 吉野 学 | 14m81(+1.6) | 2005/5/13 | 関東インカレ | 国立競技場 |
| 砲丸投 | 海老原大輔 | 15m02 | 2005/8/20 | 関東選手権 | 敷島 |
| 円盤投 | 中浦 凌馬 | 41m77 | 2016/10/30 | 北関東五大学 | 正田醤油 |
| ハンマー投 | 小林 朋寛 | 47m61 | 2013/8/3 | 千葉対校 | 笠松 |
| やり投 | 渡邊 将司 | 66m94 | 2000/10/19 | 国公立 21 大学 | 小瀬 |
| 十種競技 | 渡邊 将司 | 6676 点 | 1999/7/17・18 | 栃木県選手権 | 宇都宮 |
| 5km | 富井 一仁 | 16.18 | 2011/2/20 | 結城シルクカップ | 結城 |
| 10km | 千葉 雅昭 | 31.20 | 1981/2/11 | 勝田マラソン | ひたちなか |
| 20km | 渡辺 雄馬 | 1:03.29 | 2006/10/21 | 箱根駅伝予選会 | 昭和記念公園 |
| 30km | 鈴木徳次郎 | 1:41.12 | 1973/2/17 | 青梅マラソン | 青梅 |
| ハーフマラソン | 小野 隼太 | 1:09.20 | 2017/3/5 | 日本学生ハーフ | 昭和記念公園 |
| マラソン | 秋山 陽祐 | 2:24.46 | 2008/1/27 | 勝田マラソン | ひたちなか |

茨大記録 【女子】

| 種目 | 氏名 | 記録(風速) | 期日 | 大会名 | 会場 |
|----------|-----------------|-------------|------------|----------------|---------|
| 100m | 鈴木 麻理 | 12.10(+0.8) | 2010/10/24 | 北関東五大学 | 宇都宮 |
| 200m | 鈴木 麻理 | 24.52(+0.1) | 2010/10/24 | 北関東五大学 | 宇都宮 |
| 400m | 肥田埜里枝 | 56.04 | 2013/8/10 | N.S.S.U オープン | 日体大 |
| 800m | 石澤ゆかり | 2.10.95 | 2010/9/26 | 国公立 22 大学 | 三ツ沢 |
| 1500m | 野田 春香 | 4.33.51 | 2007/9/28 | 国公立 22 大学 | 緑が丘 |
| 3000m | 石澤ゆかり | 9.41.49 | 2010/11/20 | 日体大競技会 | 日体大 |
| 5000m | 野田 春香 | 16.28.82 | 2008/7/13 | ホクレンディスタンス | 北海道 |
| 10000m | 黒澤 夏楠 | 33.35.75 | 2013/11/23 | 10000m 記録挑戦競技会 | 国立競技場 |
| 100mH | 石川ちひろ | 14.07(+1.5) | 2006/6/10 | 日本インカレ | 日産スタジアム |
| 400mH | 石川ちひろ | 61.34 | 2005/9/18 | 国公立 22 大学 | 国立競技場 |
| 3000msc | 高野 美幸 | 11.24.53 | 2015/7/4 | 茨城県選手権 | 笠松 |
| 4×100mR | 酒井・山口・鈴木(麻)・肥田埜 | 47.67 | 2012/7/5 | 茨城県選手権 | 小吹 |
| 4×200mR | 黒川・大内・長谷川・呉 | 1.48.72 | 1994/5/29 | リレー選手権 | 笠松 |
| 4×400mR | 林田・鈴木(麻)・肥田埜・小島 | 3.49.50 | 2012/9/9 | 日本インカレ | 国立競技場 |
| 4×800mR | 深谷・飯嶋・小林・柴 | 9.42.31 | 1994/5/29 | リレー選手権 | 笠松 |
| スウェーデン R | 黒川・呉・長谷川・柴 | 2.22.05 | 1994/5/29 | リレー選手権 | 笠松 |
| 走高跳 | 森 あゆ美 | 1m73 | 2008/8/26 | 関東甲信越 | 熊谷 |
| 棒高跳 | 山内 裕香 | 3m52 | 2012/7/6 | 茨城県選手権 | 小吹 |
| 走幅跳 | 山口 真未 | 5m81(-1.3) | 2013/8/10 | N.S.S.U オープン | 日体大 |
| 三段跳 | 遠藤 園子 | 12m80(+0.7) | 2013/10/14 | 国公立 23 大学 | 町田 |
| 砲丸投 | 城所 舞 | 12m33 | 2011/8/16 | 千葉対校 | 千葉 |
| 円盤投 | 梅原 由香 | 45m84 | 1997/8/23 | 国体予選 | 笠松 |
| ハンマー投 | 弓削真理子 | 51m33 | 2010/5/3 | 日体大競技会 | 日体大 |
| やり投 | 島田 夏純 | 48m78 | 2016/10/30 | 北関東五大学 | 正田醤油 |
| 七種競技 | 山口 真未 | 4934 点 | 2013/9/6・7 | 日本インカレ | 国立競技場 |
| 10km | 野田 春香 | 34.16 | 2008/1/27 | 勝田マラソン | ひたちなか |
| ハーフマラソン | 黒澤 夏楠 | 1:14.06 | 2013/3/17 | まつえレディース | 島根 |
| フルマラソン | 野田 春香 | 2:42.19 | 2009/1/25 | 勝田マラソン | ひたちなか |

2016 年度ランキング

【男子】

| 種目 | 順位 | 氏名 | 記録 |
|---------|----|----------------|-------------|
| 100m | 1 | 柰家 弘樹 | 10.83(+1.4) |
| | 2 | 宮本 秀斗 | 10.95(+2.0) |
| | 3 | 齋藤 海斗 | 11.09(+1.5) |
| 200m | 1 | 柰家 弘樹 | 21.95(+1.5) |
| | 2 | 齋藤 海斗 | 22.25(+1.2) |
| | 3 | 木村 優 | 22.82(+1.2) |
| 400m | 1 | 宮本 秀斗 | 49.10 |
| | 2 | 川原 直之 | 49.57 |
| | 3 | 齋藤 海斗 | 50.85 |
| 800m | 1 | 小澤 晃太郎 | 1.55.70 |
| | 2 | 菊池 直人 | 1.55.88 |
| | 3 | 北尾 崇郎 | 1.57.63 |
| 1500m | 1 | 菊池 直人 | 4.02.26 |
| | 2 | 平塚 悠太 | 4.05.51 |
| | 3 | 北尾 崇郎 | 4.08.73 |
| 5000m | 1 | 小野 隼太 | 15.11.75 |
| | 2 | 藤井 駿丞 | 15.40.64 |
| | 3 | 半澤 裕太 | 15.41.03 |
| 10000m | 1 | 小野 隼太 | 31.27.49 |
| | 2 | 藤井 駿丞 | 33.14.83 |
| | 3 | 大内 一真 | 34.48.39 |
| 110mH | 1 | 立林 和歩 | 15.54(+1.4) |
| | 2 | 堀尾 佳希 | 16.23(+0.9) |
| | 3 | 木村 大介 | 16.30(+1.8) |
| 400mH | 1 | 川原 直之 | 54.39 |
| | 2 | 本吉 広武 | 55.49 |
| | 3 | 齋藤 海斗 | 57.34 |
| 3000mSC | 1 | 小野 隼太 | 9.22.20 |
| | 2 | 山本 智晴 | 9.53.81 |
| | 3 | 田村 元 | 9.56.13 |
| 4×100mR | 1 | 木村(優)・齋藤・柰家・安井 | 41.65 |
| | 2 | 木村(優)・齋藤・柰家・宮本 | 41.93 |
| | 3 | 宮本・齋藤・柰家・木村(優) | 42.00 |
| 4×400mR | 1 | 柰家・宮本・齋藤・川原 | 3.17.44 |
| | 2 | 柰家・齋藤・小澤・伊藤(俊) | 3.20.63 |
| | 3 | 伊藤(俊)・川原・齋藤・小澤 | 3.21.36 |
| 走高跳 | 1 | 小沼 祐希 | 1m95 |
| | 2 | 木村 大介 | 1m65 |
| | 3 | 堀尾 佳希 | 1m55 |
| 棒高跳 | 1 | 木内 智也 | 4m60 |
| | 2 | 小谷野 陽平 | 4m40 |
| | 3 | 堀尾 佳希 | 4m20 |
| 走幅跳 | 1 | 大貫 将人 | 6m57(+1.4) |
| | 2 | 木内 祥太 | 6m44(+1.4) |
| | 3 | 木村 大介 | 6m38(+1.5) |
| 三段跳 | 1 | 木内 祥太 | 13m39(+1.3) |
| | 2 | 小谷野 陽平 | 12m70(+2.0) |
| | 3 | 大貫 将人 | 12m65(+1.3) |
| 砲丸投 | 1 | 栗原 寿幸 | 11m37 |
| | 2 | 中浦 凌馬 | 10m97 |
| | 3 | 川嶋 康祐 | 10m53 |
| 円盤投 | 1 | 中浦 凌馬 | 41m77 |
| | 2 | 栗原 寿幸 | 36m03 |
| | 3 | 荒井 啓輔 | 27m77 |
| ハンマー投 | 1 | 富岡 泰資 | 43m53 |
| | 2 | 川嶋 康祐 | 31m74 |

| | | | |
|---------|---|--------|---------|
| やり投 | 1 | 中浦 凌馬 | 63m45 |
| | 2 | 川嶋 康祐 | 58m62 |
| | 3 | 荒井 啓輔 | 57m73 |
| 十種競技 | 1 | 堀尾 佳希 | 5354点 |
| | 2 | 木村 大介 | 5127点 |
| 20 km | 1 | 小野 隼太 | 1:05.34 |
| | 2 | 山本 智晴 | 1:08.25 |
| | 3 | 藤井 駿丞 | 1:08.48 |
| ハーフマラソン | 1 | 小野 隼太 | 1:09.20 |
| | 2 | 本田 峻 | 1:17.34 |
| フルマラソン | 1 | 藤井 駿丞 | 2:55.56 |
| | 2 | 山本 智晴 | 3:13.42 |
| | 3 | 長谷川 大輔 | 3:17.03 |

【女子】

| 種目 | 順位 | 氏名 | 記録 |
|---------|----|-------------|-------------|
| 100m | 1 | 後藤 晴菜 | 12.83(+0.3) |
| | 2 | 鈴木 杏奈 | 13.32(+0.2) |
| | 3 | 高橋 美緒 | 13.37(+0.3) |
| 200m | 1 | 鈴木 杏奈 | 26.03(+1.0) |
| | 2 | 後藤 晴菜 | 26.63(-3.0) |
| | 3 | 堀邊 美咲 | 27.15(+2.0) |
| 400m | 1 | 鈴木 杏奈 | 58.62 |
| | 2 | 小林 莉菜 | 59.59 |
| 800m | 1 | 廣瀬 未来 | 2.23.50 |
| | 2 | 荒井 芽衣 | 2.26.63 |
| | 3 | 細谷 優花 | 2.30.98 |
| 1500m | 1 | 廣瀬 未来 | 4.46.03 |
| | 2 | 高野 美幸 | 4.47.58 |
| | 3 | 荒井 芽衣 | 4.55.67 |
| 3000m | 1 | 高野 美幸 | 10.26.33 |
| | 2 | 荒井 芽衣 | 10.35.36 |
| | 3 | 福島 清香 | 10.45.99 |
| 5000m | 1 | 高野 美幸 | 17.41.99 |
| | 2 | 廣瀬 未来 | 17.46.07 |
| | 3 | 金子 美鈴 | 18.00.47 |
| 100mH | 1 | 高橋 美緒 | 14.99(+1.3) |
| | 2 | 蛭名 史織 | 15.55(+1.3) |
| | 3 | 大塚 美穂 | 16.05(-0.1) |
| 400mH | 1 | 小林 莉菜 | 64.38 |
| | 2 | 佐久間 彩 | 6d5.28 |
| | 3 | 蛭名 史織 | 65.36 |
| 3000mSC | 1 | 高野 美幸 | 11.33.79 |
| 4×100mR | 1 | 後藤・鈴木・高橋・大塚 | 49.55 |
| | 2 | 後藤・鈴木・蛭名・大塚 | 49.61 |
| | 3 | 後藤・鈴木・高橋・蛭名 | 49.69 |
| 4×400mR | 1 | 後藤・鈴木・小林・蛭名 | 3.56.27 |
| | 2 | 小林・鈴木・後藤・蛭名 | 3.59.35 |
| | 3 | 鈴木・蛭名・堀邊・小林 | 3.59.55 |
| 走高跳 | 1 | 芝崎 祐美 | 1m60 |
| | 2 | 宮本 蘭子 | 1m50 |
| | 3 | 大塚 美穂 | 1m49 |
| 走幅跳 | 1 | 後藤 晴菜 | 5m66(+1.4) |
| | 2 | 大塚 美穂 | 4m87(+0.1) |
| | 3 | 宮本 蘭子 | 4m58(+1.2) |
| 三段跳 | 1 | 後藤 晴菜 | 10m76(+1.4) |
| | 2 | 宮本 蘭子 | 10m57(+0.7) |
| | 3 | 芝崎 祐美 | 9m96(+0.5) |
| 砲丸投 | 1 | 神山 結衣 | 11m95 |
| | 2 | 大塚 美穂 | 9m81 |
| | 3 | 島田 夏純 | 8m96 |
| 円盤投 | 1 | 神山 結衣 | 41m29 |
| | 2 | 安田 萌 | 32m99 |
| | 3 | 古田 映布 | 31m16 |
| ハンマー投 | 1 | 神山 結衣 | 34m29 |
| やり投 | 1 | 島田 夏純 | 48m78 |
| | 2 | 安田 萌 | 42m24 |
| | 3 | 大塚 美穂 | 39m84 |
| 七種競技 | 1 | 大塚 美穂 | 4163点 |
| フルマラソン | 1 | 高野 美幸 | 2:50.07 |
| | 2 | 荒井 芽衣 | 3:28.23 |

対校戦順位

| | 男子 | | | 女子 | | |
|---|-----------|-------|-------|-----------|-------|-------|
| 順位 | 総合 | トラック | フィールド | 総合 | トラック | フィールド |
| 第 65 回関東甲信越大学体育大会(男子総合 4 位・女子総合 3 位) | | | | | | |
| 1 | 筑波大 | 横浜国立大 | 筑波大 | 横浜国立大 | 都留文大 | 筑波大 |
| 2 | 横浜国立大 | 千葉大 | 茨城大 | 筑波大 | 横浜国立大 | 茨城大 |
| 3 | 千葉大 | 筑波大 | 新潟大 | 茨城大 | 茨城大 | 横浜国立大 |
| 第 67 回北関東五大学対校陸上競技大会(男子総合 2 位・女子総合 1 位) | | | | | | |
| 1 | 埼玉大 | 茨城大 | 埼玉大 | 茨城大 | 茨城大 | 茨城大 |
| 2 | 茨城大 | 埼玉大 | 茨城大 | 埼玉大 | 埼玉大 | 群馬大 |
| 3 | 高崎経済大 | 群馬大 | 高崎経済大 | 群馬大 | 宇都宮大 | 高崎経済大 |
| 第 31 回国公立 26 大学対校陸上競技大会(男子総合 16 位・女子総合 4 位) | | | | | | |
| 1 | 東京学芸大 | 東京学芸大 | 東京学芸大 | 東京学芸大 | 東京学芸大 | 東京学芸大 |
| 2 | 横浜国立大 | 横浜国立大 | 埼玉大 | 福島大 | 福島大 | 茨城大 |
| 3 | 福島大 | 千葉大 | 東北大 | 横浜国立大 | 都留文大 | 福島大 |
| 第 71 回三浜駅伝競走大会(一般男子の部【1 部】2 位・一般女子の部 1 位) | | | | | | |
| 1 | 日立製作所 | | | 茨城大学 | | |
| 2 | 茨城大学 A | | | BLACKBUCK | | |
| 3 | GAZELLE A | | | 笠松走友会 | | |
| 第 17 回荒川河川敷対校駅伝競走大会(男子総合 11 位・女子総合 1 位) | | | | | | |
| 1 | 東京工業大 | | | 茨城大 | | |
| 2 | 千葉大 | | | 連合チーム A | | |
| 3 | 防衛大 | | | 上智大 | | |
| 第 14 回国公立 26 大学対校駅伝競走大会(男子総合 9 位・女子総合 1 位) | | | | | | |
| 1 | 東京工業大 | | | 茨城大 | | |
| 2 | 信州大 | | | 東京学芸大 | | |
| 3 | 横浜国立大 | | | 金沢大 | | |

Ⅷ. 部員名簿

| 学年 | 氏名 | 出身校/出身地 | ブロック | 学部/学科 |
|----|-------|---------|--------|-----------|
| 院2 | 本岡 理彦 | 新発田/新潟 | 短距離 | 工 /電気電子 |
| 院2 | 安田 萌 | 竜ヶ崎一/茨城 | 投擲 | 教育/保健体育 |
| 院2 | 渡辺 綾乃 | 日立北/茨城 | 短距離 | 教育/保健体育 |
| 院1 | 荒井 啓輔 | 竜ヶ崎一/茨城 | 投擲 | 教育/保健体育 |
| 4年 | 荒井 芽衣 | 白河/福島 | 中長距離 | 教育/養護教諭 |
| 4年 | 小澤晃太郎 | 日立一/茨城 | 中長距離 | 教育/保健体育 |
| 4年 | 菊池 直人 | 水戸三/茨城 | 中長距離 | 教育/保健体育 |
| 4年 | 木村 大介 | 小瀬/茨城 | 跳躍 | 工 /機械工 |
| 4年 | 渋谷 弥生 | 青森/青森 | 中長距離 | 人文/人コミ |
| 4年 | 鈴木 杏奈 | 矢板東/栃木 | 短距離 | 教育/保健体育 |
| 4年 | 高野 美幸 | 磐城/福島 | 中長距離 | 教育/健康 |
| 4年 | 友常 結衣 | 土浦湖北/茨城 | 投擲 | 教育/健康 |
| 4年 | 長谷川大輔 | 三条/新潟 | 中長距離 | 理 /地球環境 |
| 4年 | 平塚 悠太 | 佐和/茨城 | 中長距離 | 工 /都市シス |
| 4年 | 藤井 駿丞 | 熊谷/埼玉 | 中長距離 | 人文/人コミ |
| 4年 | 堀尾 佳希 | 須坂/長野 | 跳躍 | 工 /都市シス |
| 4年 | 宮本 秀斗 | 竜ヶ崎一/茨城 | 短距離 | 教育/保健体育 |
| 4年 | 宮本 蘭子 | 緑岡/茨城 | 跳躍 | 教育/保健体育 |
| 4年 | 安井 智哉 | 明星/東京 | 短距離 | 理 /物理 |
| 4年 | 柳町 直 | 竜ヶ崎一/茨城 | 中長距離 | 教育/保健体育 |
| 4年 | 山本 智晴 | 宇和/愛媛 | 中長距離 | 理 /数学 |
| 3年 | 石堀 芙柚 | 水戸一/茨城 | マネージャー | 教育/心理 |
| 3年 | 蛭名 史織 | 常総学院/茨城 | 短距離 | 教育/健康 |
| 3年 | 大塚 美穂 | 宇都宮南/栃木 | 跳躍 | 教育/保健体育 |
| 3年 | 小野 隼太 | 盛岡第一/岩手 | 中長距離 | 理 /物理 |
| 3年 | 後藤 晴菜 | 竜ヶ崎一/茨城 | 跳躍 | 教育/保健体育 |
| 3年 | 小林次次郎 | 鹿沼/栃木 | 短距離 | 教育/スポーツ |
| 3年 | 富岡 泰資 | 竹園/茨城 | 投擲 | 教育/スポーツ |
| 3年 | 中浦 凌馬 | 水城/茨城 | 短距離 | 工 /情報工 |
| 3年 | 廣瀬 未来 | 牛久/茨城 | 中長距離 | 教育/健康 |
| 3年 | 樋口 卓哉 | 甲府西/山梨 | 中長距離 | 工 /メディア通信 |
| 3年 | 古田 映布 | 下妻一/茨城 | 投擲 | 教育/保健体育 |
| 3年 | 細谷 優花 | 相模原/神奈川 | 中長距離 | 理 /地球環境 |
| 3年 | 増田 梨沙 | 仙台二華/宮城 | 中長距離 | 人文/社会 |
| 3年 | 李家 弘樹 | 宇都宮東/栃木 | 短距離 | 工 /機械工 |
| 2年 | 伊藤 俊亮 | 西宮北/兵庫 | 短距離 | 工 /マテ工 |
| 2年 | 海野 優佳 | 緑岡/茨城 | マネージャー | 教育/養護教諭 |
| 2年 | 大貫 将人 | 竜ヶ崎一/茨城 | 跳躍 | 教育/スポーツ |

| 学年 | 氏名 | 出身校/出身地 | ブロック | 学部/学科 |
|----|-------|--------------|--------|---------|
| 2年 | 金子 美鈴 | 栃木女子/栃木 | 中長距離 | 教育/スポーツ |
| 2年 | 神山 結衣 | 那須拓陽/栃木 | 投擲 | 教育/保健体育 |
| 2年 | 川嶋 康祐 | 日大三島/静岡 | 投擲 | 教育/健康 |
| 2年 | 川原 直之 | 杉戸/埼玉 | 短距離 | 教育/スポーツ |
| 2年 | 木内 祥太 | 佐原/千葉 | 跳躍 | 工 /機械工 |
| 2年 | 木内 智也 | 佐原/千葉 | 跳躍 | 工 /機械工 |
| 2年 | 木村 優 | 緑岡/茨城 | 短距離 | 教育/理科 |
| 2年 | 栗原 寿幸 | 安房/千葉 | 投擲 | 理 /学際理学 |
| 2年 | 小林 莉菜 | 水戸葵陵/茨城 | 短距離 | 教育/健康 |
| 2年 | 齊藤 海斗 | 土浦第三/茨城 | 短距離 | 人文/社会 |
| 2年 | 佐久間 彩 | 橘/福島 | 短距離 | 教育/スポーツ |
| 2年 | 澁谷 惇徳 | 新発田/新潟 | 跳躍 | 人文/人コミ |
| 2年 | 高橋 美緒 | 館林女子/群馬 | 短距離 | 教育/健康 |
| 2年 | 立林 和歩 | 掛川西/静岡 | 短距離 | 教育/スポーツ |
| 2年 | 濱田 一輝 | 帯広柏葉/ 北海道 | 短距離 | 農 /資源生物 |
| 2年 | 半澤 裕太 | 熊谷/埼玉 | 中長距離 | 工 /知能シス |
| 2年 | 宮本 莉歩 | 下妻一/茨城 | マネージャー | 教育/理科 |
| 2年 | 本吉 広武 | 木更津/千葉 | 短距離 | 教育/国語 |
| 1年 | 伊藤 裕紀 | 会津/福島 | 中長距離 | 農 /地球環境 |
| 1年 | 大内 一真 | 太田一/茨城 | 中長距離 | 工 /生体分子 |
| 1年 | 大塚 千穂 | 水戸二/茨城 | 中長距離 | 教育/理科 |
| 1年 | 小沼 祐希 | 佐和/茨城 | 跳躍 | 人文/社会 |
| 1年 | 片見 恵都 | 水戸二/茨城 | マネージャー | 人文/社会 |
| 1年 | 小谷野陽平 | 成田/千葉 | 跳躍 | 工 /都市シス |
| 1年 | 齊藤 鉄 | 竜ヶ崎一/茨城 | 中長距離 | 教育/健康 |
| 1年 | 芝崎 祐美 | 竹園/茨城 | 跳躍 | 教育/保健体育 |
| 1年 | 島田 夏純 | 会津学鳳/福島 | 投擲 | 教育/スポーツ |
| 1年 | 田村 元 | 滝川/北海道 | 中長距離 | 教育/健康 |
| 1年 | 中里 純也 | 國學院栃木/ 栃木 | 中長距離 | 教育/保健体育 |
| 1年 | 中島 康平 | 大湊/青森 | 中長距離 | 理 /数学 |
| 1年 | 中島 佑介 | 春日部/埼玉 | 中長距離 | 人文/社会 |
| 1年 | 福島 清香 | 水戸二/茨城 | 中長距離 | 教育/健康 |
| 1年 | 堀邊 美咲 | 日立一/茨城 | 短距離 | 教育/スポーツ |
| 1年 | 本田 峻 | 筑紫/福岡 | 中長距離 | 人文/人コミ |
| 1年 | 山崎ひかる | 藤代/茨城 | 中長距離 | 教育/健康 |
| 1年 | 山本麻友子 | 水戸一/茨城 | 中長距離 | 教育/保健体育 |

編集後記

今回も部誌を作成するにあたり、ご協力していただいた皆様に感謝申し上げます。おかげさまで無事に部誌を発行することができました。2016年度を振り返りますと、関東学生陸上競技選手権大会において男子やり投で中浦が3位入賞、10年ぶりに東京箱根間往復駅伝競走予選会に出場しました。また、そのほかの大会でも多くの部員の自己ベスト更新が見られました。2017年度は新しい方針として「Gear Change」と設定し、チームや個人の目標に向かってお互いに刺激し合い、変化を恐れず競技力の向上を目標とし日々の練習に取り組み、様々な大会で活躍していきます。（文責：齋藤海斗）

茨城大学陸上競技部に関するお問い合わせ

陸上競技部に関するご意見・ご質問は、ホームページ内の掲示板、もしくは、顧問の上地までよろしくお願いたします。
皆様からの情報をお待ちしております。

ホームページURL

<http://18.pro.tok2.com/~ibadaitandfclub/>

顧問 上地 勝・渡邊 将司

〒310 - 8512 水戸市文京2-1-1

茨城大学教育学部

Tel: 029-228-8477 (研究室)

Fax: 029-228-8478 (体育事務室)

e-mail: mueji@mx.ibaraki.ac.jp

茨苑ACに関するお問い合わせ

〒310 - 0852 水戸市笠原町979-16

Tel: 029-244-1036

益子 雄行

茨城大学陸上競技部部誌「Perspiration」第11号

平成29年 3月25日発行

編集責任者

増田梨沙・廣瀬未来

発行者 茨城大学陸上競技部